

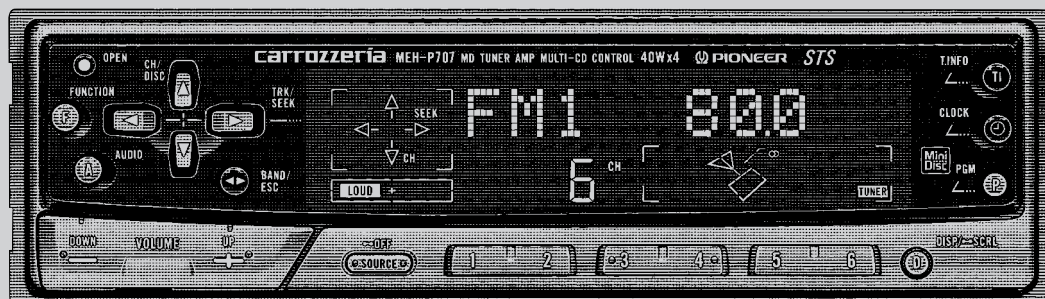
取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。なお、この取扱説明書は、保証書と一緒に必ず保管してください。
接続と取り付けは、別冊の取付説明書をご覧ください。



carrozeria
by PIONEER

MEH-P707



安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



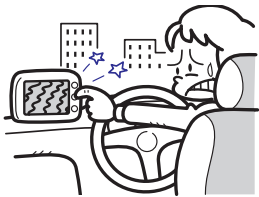
必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

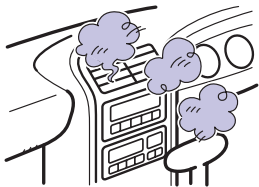
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

各部のなまえ	6
メインコントローラーを使う	7
本機の操作の概要	8

電源を入れる

聞きたいソース (音源) を選ぶ	10
------------------	----

内蔵MDでMDを聞く

MDのふだんの操作	12
MDをセットする	
曲を選ぶ	
早送り/早戻しをする	
MDを取り出す	14
モードの切り換えかた	15
同じ曲を繰り返し聞く	16
いつもと違う曲順で聞く	17
聞きたい曲をさがす	18
MD再生を一時停止する	19
MDのタイトルを表示させる	20
よく使う機能を学習させる	21

ラジオを聞く

ラジオのふだんの操作	22
バンドを選ぶ	
放送局を選ぶ	
複数の放送局を自動的に記憶させる	24
放送局を1局ずつ記憶させる	26
記憶させた放送局を呼び出す	27
放送局名を記憶させる	28
放送局名を表示させる	30

マルチCDでCDを聞く (マルチCD接続時のみ)

マルチCDのふだんの操作	32
ディスクを選ぶ	
曲を選ぶ	
早送り/早戻しをする	
聞きたいCDを直接選ぶ (6/12枚)	34
おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ (50枚)	35
モードの切り換えかた	36
同じ曲やCDを繰り返し聞く	37
いつもと違う曲順で聞く	38
CD再生を一時停止する	39
聞きたい曲やCDをさがす	40
聞きたい曲だけ記憶させておく	42
記憶させた曲だけ再生する	43
記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す	44
記憶させた曲をCDごとに記憶から消す	45
CDをグループ分けする (50枚)	46
グループ別で再生する (50枚)	48
CDをグループから消す (50枚)	49
演奏頻度でCDを再生する (50枚)	50
CDの音質を調整する	52
CDのタイトルを記憶させる	54
タイトルを見て聞きたいCDをさがす	56
タイトルの頭文字でCDをさがす (50枚)	57
CDのタイトルやグループを表示させる	58
選んだCDを取り出す (50枚)	59
よく使う機能を学習させる	60

C O N T E N T S

すぐ使えます
ここだけ読めば

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

音を調節する

瞬時に音量を小さくする	62
オーディオ調節モードの切り換えかた	63
前後左右の音量バランスを調節する	64
低音や高音を調節する	66
小音量時の音にメリハリをつける	67
前にステージがあるような感じにする	68
各ソースの音量の違いをそろえる	69

その他の機能と付録

時計を表示させる	70
時計を合わせる	71
交通情報を受信する	72
初期設定モードの切り換えかた	73
外部機器の音声を聞く	74
テレビのときにオートアンテナをのばす	76
夜間のディスプレイの明るさを切り換える	77
ディスプレイの コントラスト (明暗)を調節する	78
本機を初期状態に戻す	79
MDの正しい使いかた	80
こんなメッセージが表示されたら	81
故障かな?と思ったら	82
保証書とアフターサービス	84
おもな仕様	85

はじめに

電源を入れる

内蔵 MD で MD を聞く

ラジオを聞く

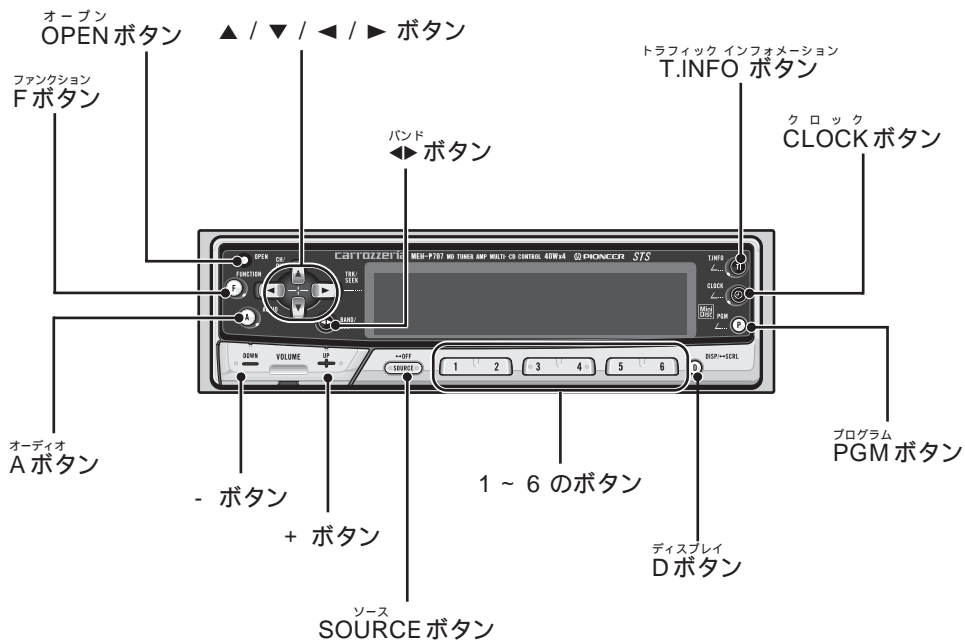
マルチ CD で CD を聞く

音を調節する

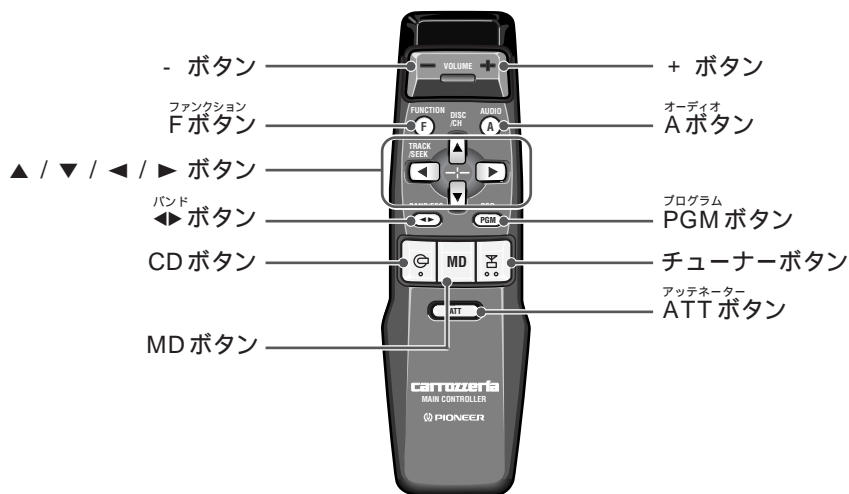
その他の機能と付録

各部のなまえ

本体



メインコントローラー



メインコントローラーを使う

メインコントローラーで本機を操作することができます。

メインコントローラーに電池を入れる

裏ブタを開けて、単4形乾電池 (R03) 2本をセットします。



メインコントローラーの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

メインコントローラー取り扱い上のご注意

メインコントローラーを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

本機に直射日光が当たっていると、メインコントローラーの操作ができないときがあります。このようなときは、本機にメインコントローラーを近づけて操作してください。

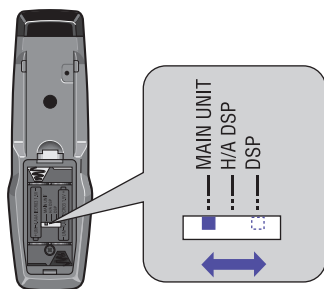
乾電池は充電できません。

メインコントローラーを長い間使わないときは、電池を取り出してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

DSPを接続する場合

本機にDSPを接続したときは、メインコントローラーのスイッチを切り換える必要があります。裏ブタを開けて電池をはずし、ペン先などでスイッチを切り換えてください。



スイッチの位置の選びかた

MAIN UNIT : DSPを接続しないとき

H/A DSP : 本機では、この位置は使用しません

DSP : DSP (「KDS-P505」など) を接続したとき

“ DSP ”にスイッチを切り換えると

+ ボタン、- ボタンおよびATT ボタンはDSPに働き、本機には働かなくなります。

メインコントローラーのPGM ボタンがDSP ボタンになり、イコライザーカーブを呼び出せるようになります。(PGM ボタンとしては、働かなくなります。PGM ボタンに記憶させた機能は、本体のPGM ボタンで操作してください。)

本機 の 操作 の 概要

本機の操作のまとめです。ひと通りの操作が終わった後、操作を忘れたときなどにお使いください。

ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ ボタンおよび◀▶ ボタンで操作します。

聞いている ソース 押すボタン	MD、CDを 聞いているとき	ラジオ、テレビを 聞いているとき	テープを 聞いているとき
◀または▶ ボタン	選曲、早送り/早戻し	自動選局、手動選局	早送り/巻き戻し、頭出し
▲または▼ ボタン	再生するディスクの切り換え (マルチCD、マルチMDを接続している場合のみ)	記憶させた放送局の切り換え	-----
◀▶ ボタン	マルチCDの切り換え (マルチCDを2台以上接続している場合のみ)	バンド (FM/AM) の切り換え	再生方向 (A面/B面) の切り換え

便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。オペレーションモードには4つのモードがあり、次の手順で操作します。

手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ調節 モード
1	それぞれのモードにする	F ボタンを押す	F ボタンを 2秒以上押す	電源がOFFのときに、F ボタンを 2秒以上押す	A ボタンを押す
2	機能を切り換える	F ボタンを押す			A ボタンを押す
3	機能をON/OFFする または 項目を選ぶ	▲または▼ ボタンを押す			
		◀または▶ ボタンを押す			
4	それぞれのモードを解除する	◀▶ ボタンを押す			

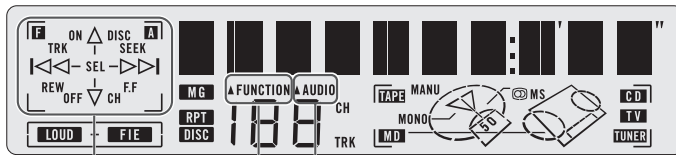
それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード : MDのリPEAT再生 (☞ 16ページ) やマルチCDのスクアン再生 (☞ 40ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を操作できます。
- 詳細設定モード : PGM (学習) ボタンの記憶 (☞ 21ページ) やCDのタイトル入力 (☞ 54ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード : 外部機器 (☞ 74ページ) やディマ一 (☞ 77ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード : フェーダー/バランス (☞ 64ページ) やバス/トレブル (☞ 66ページ) など、音質に関する調節ができます。

はじめに

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



F、A、▲/▼/◀/▶ ボタンの中で、操作可能なボタンが表示されます。

オーディオ調節モードのときに表示されます。

ファンクションモード、詳細設定モード、初期設定モードのときに表示されます。

表示の例	内容
	▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。
	▲または▼ボタンで機能のON/OFFができます。また、Aボタンで機能を切り換えることができます。
	◀または▶ボタンで項目を選ぶことができます。また、Fボタンで機能を切り換えることができます。

聞きたいソース (音源) を選ぶ

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

メインコントローラーでソースを切り換える

チューナーボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- テレビ
- ラジオ (FM/AM)
- 電源 OFF

CD ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- 1 枚型 CD
- マルチ CD
- 電源 OFF

MD ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- テープ
- 内蔵 MD
- マルチ MD
- 電源 OFF

本体でソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- 1 枚型 CD
- テレビ
- ラジオ (FM/AM)
- テープ
- 内蔵 MD
- マルチ MD
- マルチ CD
- AUX (外部機器)





本体で電源を切る

SOURCE ボタンを1秒以上押す
本機の電源が切れます。

テレビ、1枚型CD、テープ、マルチMDを組み合わせたときは
操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

テレビ、テープ、マルチMDの組み合わせ例

ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P707W」 「AVX-P505」
テープ	「KDS-P505」
マルチMD	「MD-P100II」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外のメインユニットと組み合わせた場合を例にして、操作説明が行われています。本書を参考にして、対応しているボタンで操作を行ってください。

1枚型CDの組み合わせ例

ソース	製品の型番
1枚型CD	「CDS-P303」

上記の製品の取扱説明書では、メインユニット「KEH-P303」との組み合わせた場合を例にして、操作説明が行われています。本書を参考にして、対応しているボタンで操作を行ってください。

本機では、1枚型CDでスキャン再生を行うこともできます。

メモ

接続していないソースには切り換わりません。
また、AUX (外部機器) の設定 (☞ 74ページ) をONにしないと、AUXには切り換わりません。
MDやCD、テープがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。

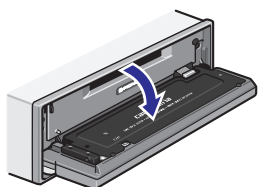
MDのふだんの操作

MDをセットする

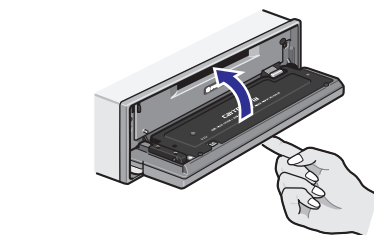
ここだけの操作で、内蔵のMDプレーヤーでMDを聞くことができます。

1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す



3 フロントパネルを閉める

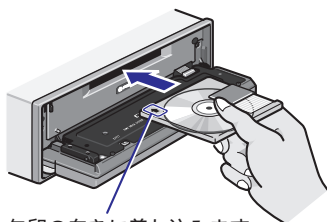


1 曲目の再生が始まります。



2 MDをセットする

MDのラベル面を上にして、MD挿入口に差し込む



矢印の向きに差し込みます

MDのシャッターが閉まっていることを確認してから差し込んでください。

メモ

MDを挿入すると、本機はMDから曲数などの情報を読みとります。この間、ディスプレイには「TOC READ」が表示されます。





4 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒以内
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し続けている間

録音・編集を繰り返し行ったMDを再生中に、曲の早送り/早戻しを行うと、音がとぎれることがあります。

5 音量を調節する

+ または - ボタンを押す

- + : 大きくするとき
- : 小さくするとき



0 ~ 30の範囲で調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

6 MD再生をやめる

MDを取り出します。(☞ 14ページ)
または、MDをセットしたまま他のソースに切り換えるか、電源をOFFにします。(☞ 10、11ページ)

MDを取り出す

MD イジェクト

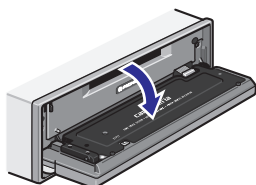
MDを取り出すことができます。

OPEN ボタン

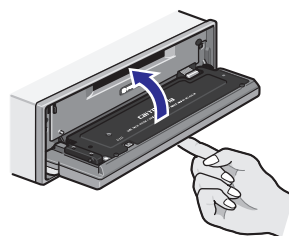


1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す



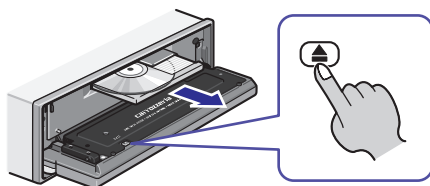
3 フロントパネルを閉める



2 MDを取り出す

▲ ボタンを押す

MDが出てきます。

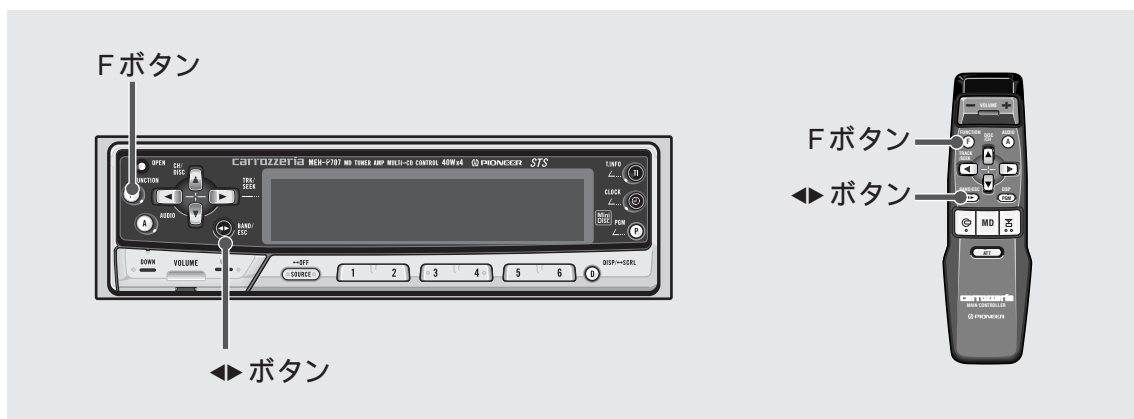


MD挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐため、フロントパネルを閉めてください。

出てきたMDはすぐに取り出して、保管してください。

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。



ファンクションモードの切り換え

ファンクション モードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ 16ページ)

ランダムモード (☞ 17ページ)

スキャンモード (☞ 18ページ)

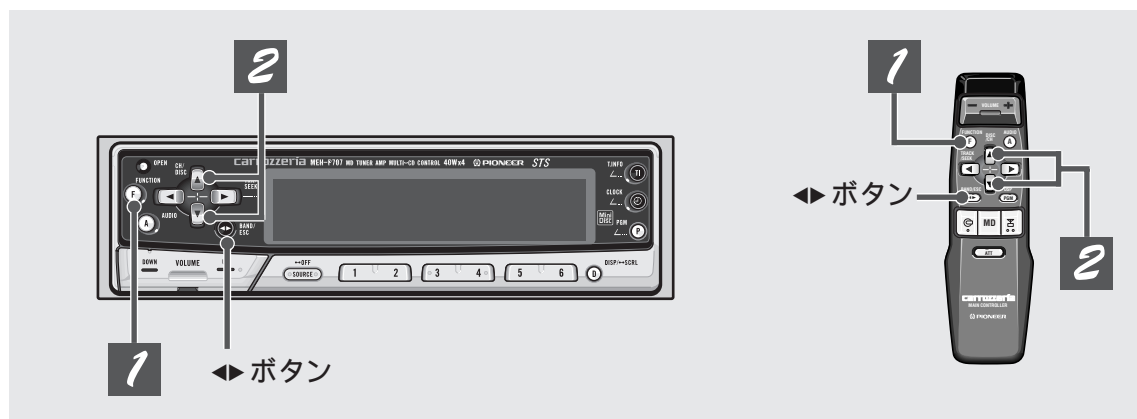
ポーズモード (☞ 19ページ)

ファンクションモードを解除するには、◀ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

同じ曲を繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。



1 リピートモードにする (👉 15 ページ)



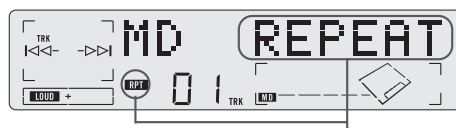
2 リピート再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

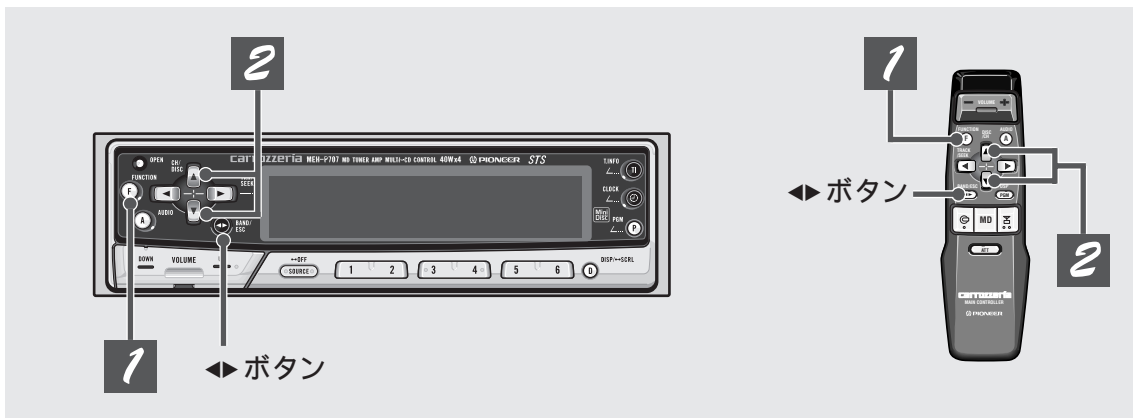


リピート再生中に表示されます。

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲を内蔵のMDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。



1 ランダムモードにする (☞ 15 ページ)



2 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



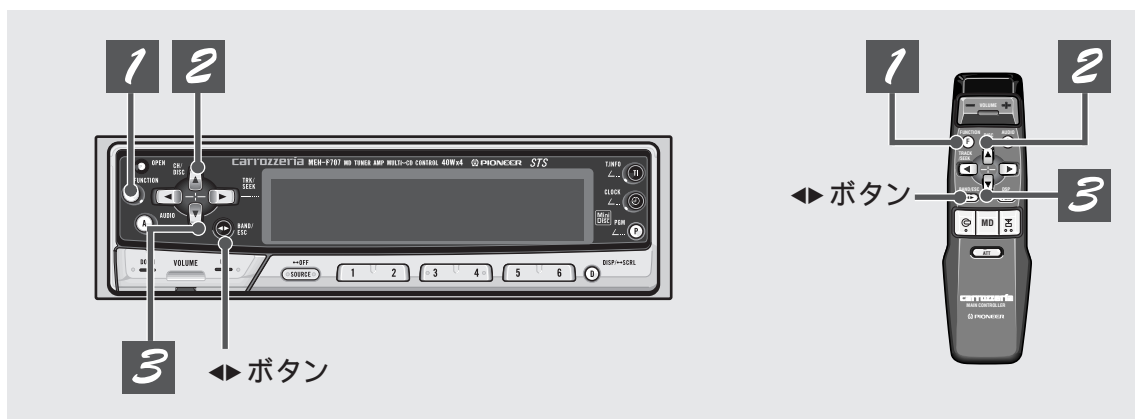
ランダム再生中に表示されます。

内蔵MDでMDを聞く

聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。



1 スキャンモードにする (☞ 15 ページ)



2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

3 聞きたい曲が再生されたらスキャン再生を解除する

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を解除してください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

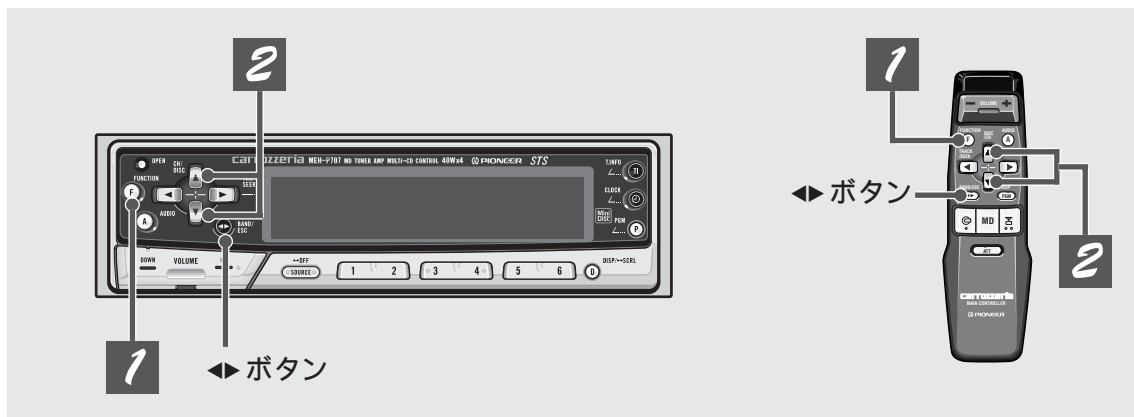
メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は自動的に解除されます。

MD 再生を一時停止する

ポーズ

MD再生を一時停止することができます。



1 ポーズモードにする (☞ 15ページ)



2 MD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ボタンで再生)



◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



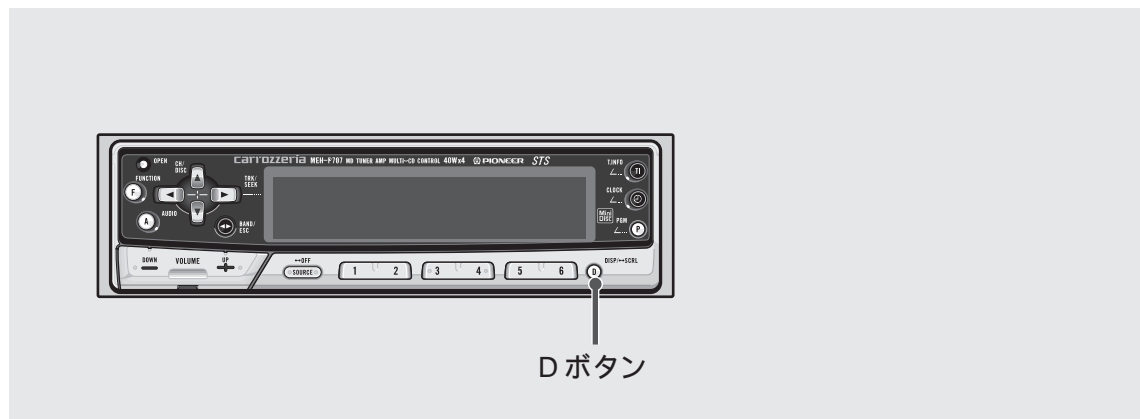
一時停止中に表示されます。

内蔵MDでMDを聞く

MDのタイトルを表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

再生経過時間の表示以外に、ディスク名や曲名を表示させることができます。ディスク名や曲名は一度に10文字までしか表示されませんが、隠れている文字を順に表示させることができます。



表示切り換え

表示を切り換える

Dボタンを押す

ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

再生経過時間表示



ディスク名表示



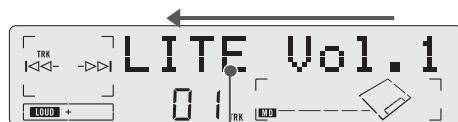
曲名表示



隠れているタイトルを表示する

隠れているタイトルを表示する

Dボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されていきます。

メモ

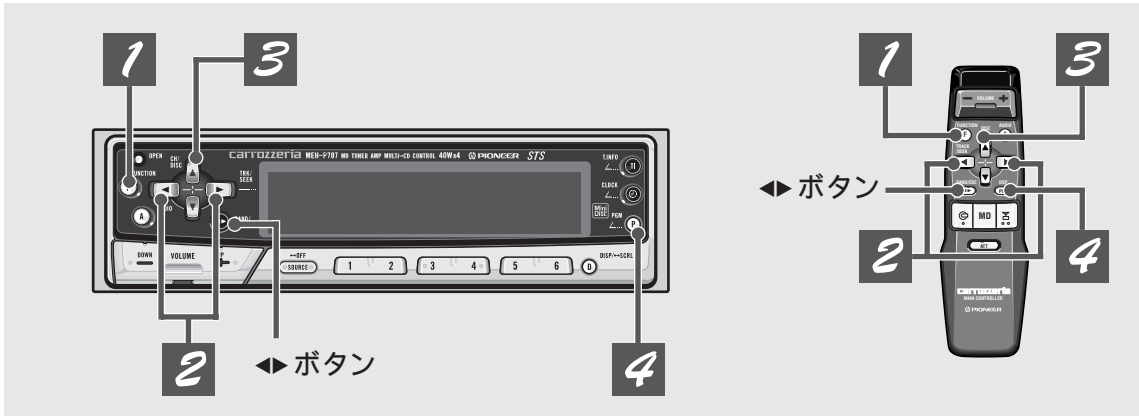
再生経過時間表示は、リピート、ランダム、スキップ再生を行うと、それぞれのON/OFFの状態を示す表示が変わります。

本機はカナ文字に対応していますので、カナやアルファベットの小文字がそのまま表示されます。ディスク名が入力されていない場合は、ディスク名表示が“NO D-DATA”になります。曲名が入力されていない場合は、曲名表示が“NO TR-DATA”になります。

よく使う機能を学習させる

プログラムファンクション

よく使う機能をソースごとに、PGMボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、ポーズが学習されています。)



1 プログラムファンクション設定モードにする

Fボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

3 選んだ機能を学習させる

▲ボタンを押す

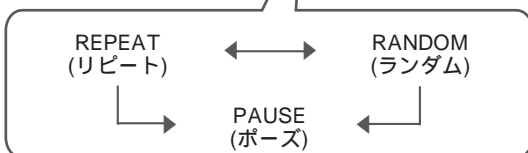


点滅が止まり、選んだ機能が学習されます。

2 学習させたい機能を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



◀ボタンを押して、プログラムファンクション設定モードを解除してください。

4 学習させた機能を操作する

PGMボタンを押す

記憶させた機能により、操作方法が以下のようになります。

機能	押す	2秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	---
リピート	ON/OFF	---
ランダム	ON/OFF	---

内蔵MDでMDを聞く

ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースをラジオにする (☞ 10ページ)

SOURCEまたはチューナーボタンを押す

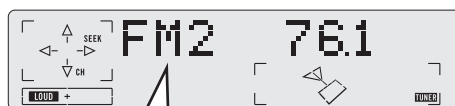
ラジオを受信します。



2 バンドを選ぶ

◀▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のようにバンドが切り換わります。



FM1	▶	FM2
AM2	◀	AM1

FMとAMのどちらとも、より多くの放送局を記憶できるように、1と2のバンドに分かれています。(受信できる周波数は1と2のどちらも同じです。)



すぐ使えます
ここだけ読めば



3 放送局を選局する

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき

◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

ステレオ放送を受信すると表示されます。

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.3秒以内
自動選局	0.3秒 ~ 2秒の間
手動選局 (連続)	2秒以上押し続けている間

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 音量を調節する

+ または - ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



0 ~ 30の範囲で調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

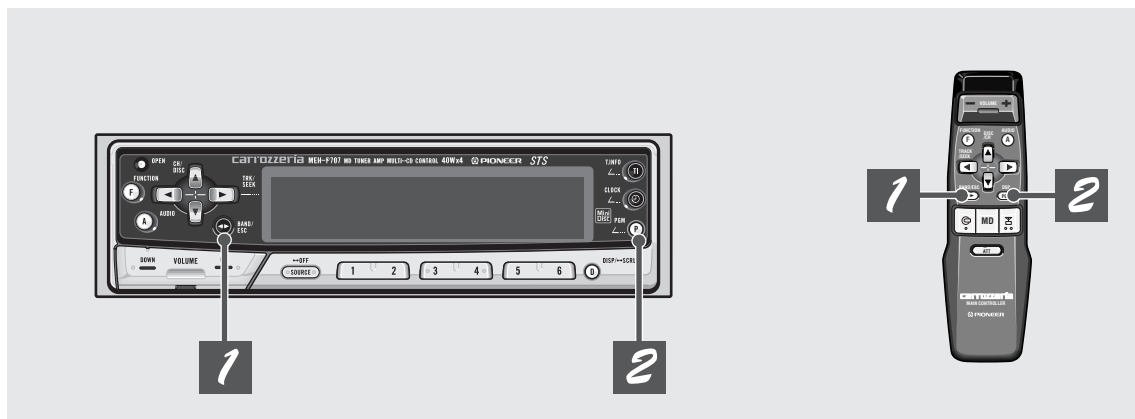
5 ラジオの受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにします。(☞ 10、11ページ)

ラジオを聞く

複数の放送局を自動的に記憶させる

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。



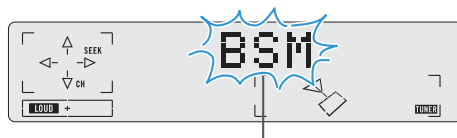
PGM ボタンで操作する場合

1 記憶させるバンドを選ぶ

◀ ボタンを押す

2 BSM を始める

PGM ボタンを2秒以上押す
(PGM ボタンで途中解除)



記憶動作中に点滅します。



記憶が終わると、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

メモ

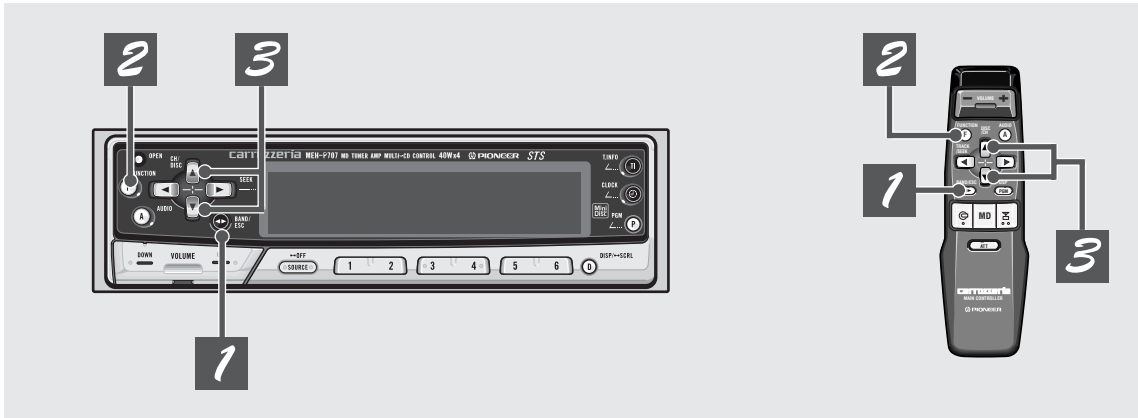
受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ 27ページ)

ラジオでは、PGMボタンにBSM以外の機能を学習させることはできません。

BSMはFボタンを使って操作することもできます。
(☞ 次ページ)



Fボタンで操作する場合

1 記憶させるバンドを選ぶ

◀ ボタンを押す

2 BSMモードにする

Fボタンを押す



3 BSMを始める

▲ ボタンを押す (▼ボタンで途中解除)



記憶動作中に点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

◀ ボタンを押して、BSMモードを解除してください。

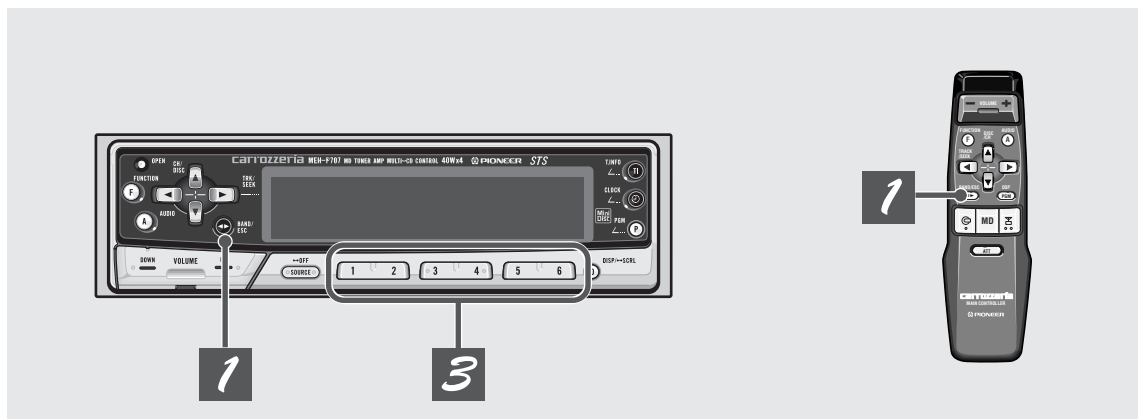


受信中の記憶番号

放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。



1 記憶させるバンドを選ぶ

◀ ボタンを押す

2 記憶させたい放送局を選局する (☞ 23ページ)

3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、受信中の放送局が記憶されます。

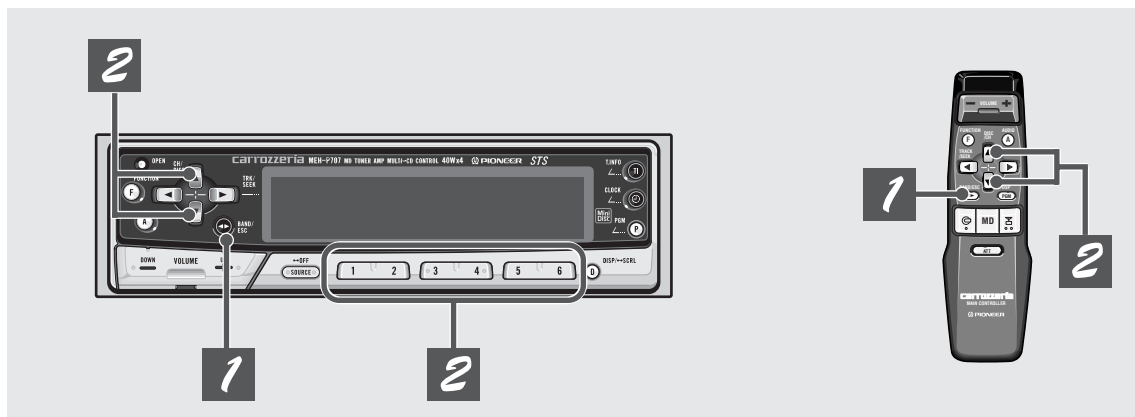
メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ 次ページ)

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。



1 記憶させたバンドを選ぶ

◀ ボタンを押す

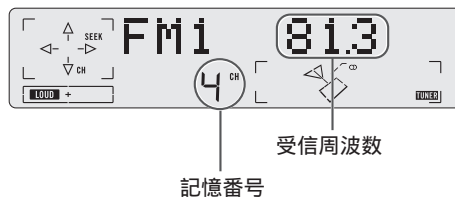
2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す
1 ~ 6 のボタンの1つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出す
▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

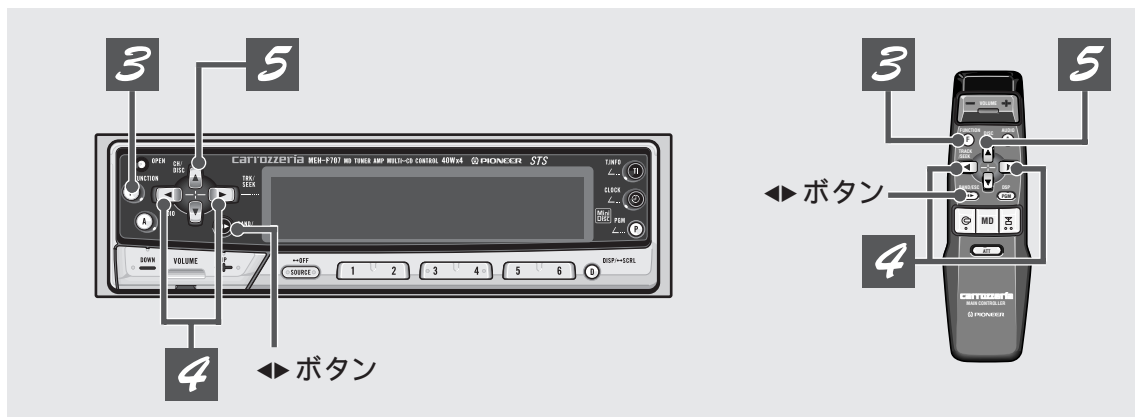
▼ : 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



ラジオを聞く

放送局名を記憶させる

ラジオの放送局名を表示させる (☞ 30ページ) ために、あらかじめ放送局名を記憶させておきます。



放送局名表示について

放送局名表示は、受信中の周波数に該当する放送局名を記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

FMで12局分、AMで12局分記憶することができます。

それぞれのバンドで記憶できる局数を超えたときは、いちばん古い記憶が消されます。

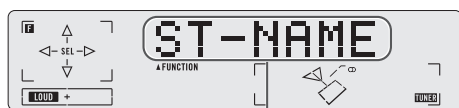
1 記憶させるバンドを選ぶ

◀ ボタンを押す

2 表示させたい放送局を選局する (☞ 23、27ページ)

3 放送局名モードにする

F ボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

放送局名モードでFボタンを押すと放送局名モードにしてから、Fボタンを押すと、次のように切り換わります。

放送局名モード

プログラムファンクション設定モード

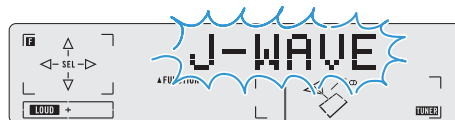
プログラムファンクション設定モードは、ラジオでは使用できません。

4 放送局名を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 次の放送局名を選ぶとき

◀ : 前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名が点滅します。

本機に登録されていない放送局名は選べません。

5 放送局名を記憶する

▲ ボタンを押す



◀▶ ボタンを押して、放送局名モードを解除してください。

メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“NO DATA”と表示されます。

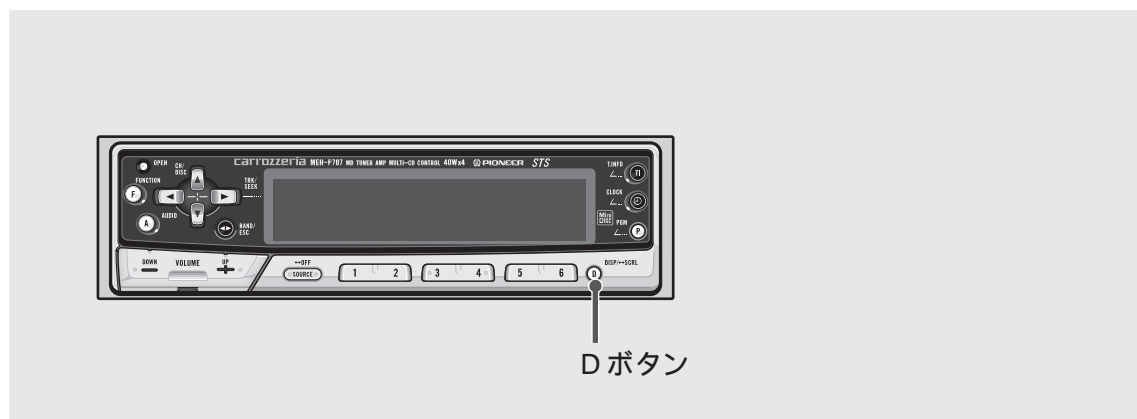
放送局名を表示させたくないときは、全て空白“-----”を選んでください。

パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD(「CDX-FM633S」など)をお使いの方は、モジュレーター周波数にあわせると、“FM M-CD”の放送局名を選ぶことができます。

放送局名を表示させる

放送局名表示

放送局名記憶 (☞ 28ページ) で記憶させた放送局名を、表示させることができます。



表示を切り換える

D ボタンを押す

ボタンを押すごとに表示が切り換わります。
放送局名表示



記憶した放送局名

バンド/受信周波数



メモ

放送局名が記憶されていない周波数は、放送局名表示には切り換わりません。

マルチCDのふだんの操作

ディスクを

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースをマルチCDにする (☞ 10ページ)

SOURCEまたはCDボタンを押す
マルチCDの再生が始まります。



50連奏マルチCD再生時のみ
表示されます。

2 聞きたいCDを選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次のCDを選ぶとき

▼ : 前のCDを選ぶとき



CD番号

マルチCDを2台以上 接続したときは

再生するマルチCDを選ぶことができます。

◀▶ ボタンを押すごとに、次のマルチCDの
再生に切り換わります。



マルチCDの番号が約2秒間表示されます。





3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択 0.5秒以内

曲の早送り/早戻し 0.5秒以上押し続けている間

4 音量を 調節する

+ または - ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



0 ~ 30の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

5 マルチCD再生を やめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにします。(➡ 10、11ページ)

メモ

別売のIP-BUS拡張アダプター「CD-P33」などを使うと、複数のマルチCDを接続できます。接続できる台数については、IP-BUS拡張アダプターの説明書をご覧ください。(「CDX-P630S/CDX-P1230S」は、「CD-P33」との接続、およびマルチCDの複数台接続はできません。)

マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“READY”が表示されます。

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“NO MAG”が表示されます。

聞きたいCDを直接選ぶ (6/12枚)

ダイレクトサーチ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

チェック 6連奏/12連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



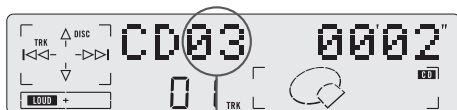
1 ~ 6のボタン

聞きたいCDを 選ぶ

1 ~ 6のボタンを押す

2秒以内：1 ~ 6枚目のCDを選ぶとき

2秒以上：7 ~ 12枚目のCDを選ぶとき



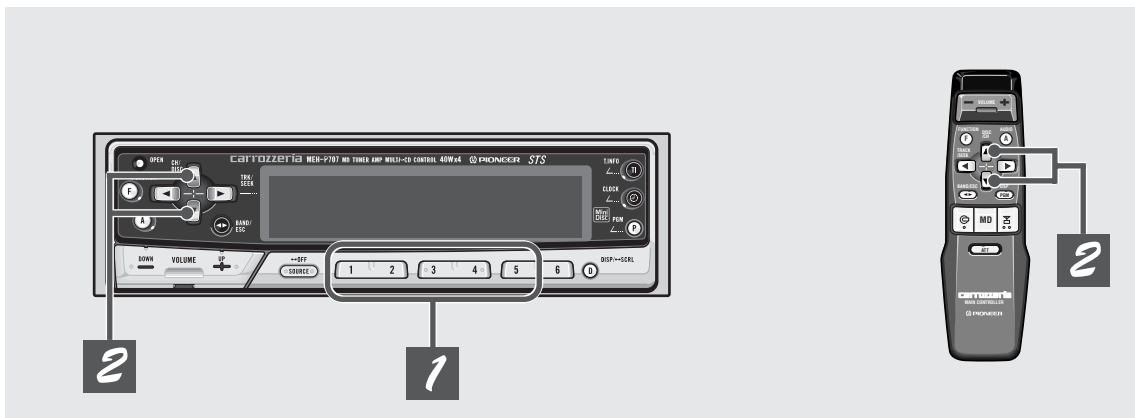
CD番号

おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ (50枚)

ラフサーチ

聞きたいCDの10の位の数字を合わせることができます。

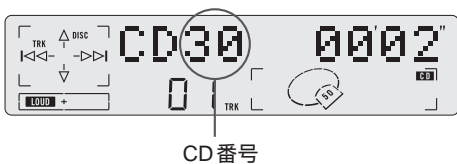
チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



1 聞きたいCDをおおまかに選ぶ

1 ~ 5 のボタンを押す

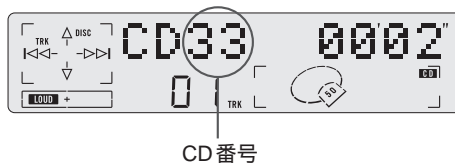
- 1 : 10 ~ 19 枚目のCDを選ぶとき
- 2 : 20 ~ 29 枚目のCDを選ぶとき
- 3 : 30 ~ 39 枚目のCDを選ぶとき
- 4 : 40 ~ 49 枚目のCDを選ぶとき
- 5 : 50、51 枚目のCDを選ぶとき



2 聞きたいCDを選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

- ▲ : 次のCDを選ぶとき
- ▼ : 前のCDを選ぶとき



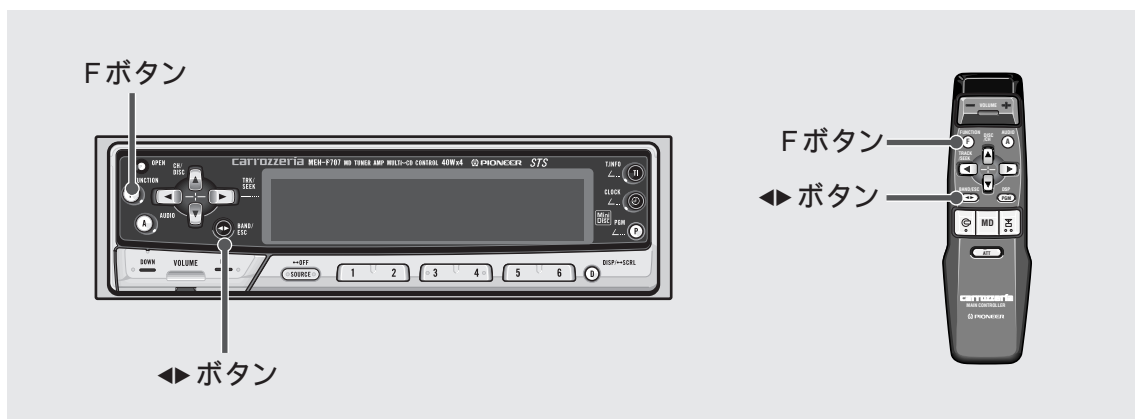
マルチCDでCDを聞く

メモ

エクストラトレイにあるCDを選んだときや、エクストラトレイからマガジンにCDが移動しているときは、“LOAD”が表示されます。(☞ 50連奏マルチCDプレーヤーの取扱説明書)

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。



ファンクションモードの切り換え

ファンクション モードを切り換える

F ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- リピートモード (☞ 次ページ)
- タイトルリストモード (☞ 56 ページ)
- “ABC”ディスクタイトル
サーチモード(50枚) (☞ 57 ページ)
- ランダムモード (☞ 38 ページ)
- スキャンモード (☞ 40 ページ)
- ITS再生モード (☞ 43 ページ)
- ミュージックグループ別
モード(50枚) (☞ 48 ページ)
- 演奏頻度別モード(50枚) (☞ 50 ページ)
- ポーズモード (☞ 39 ページ)
- COMP切り換えモード (☞ 52 ページ)

ファンクションモードを解除するには、◀ ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定 モードにする

F ボタンを2秒以上押す

2 詳細設定 モードを切り換える

F ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

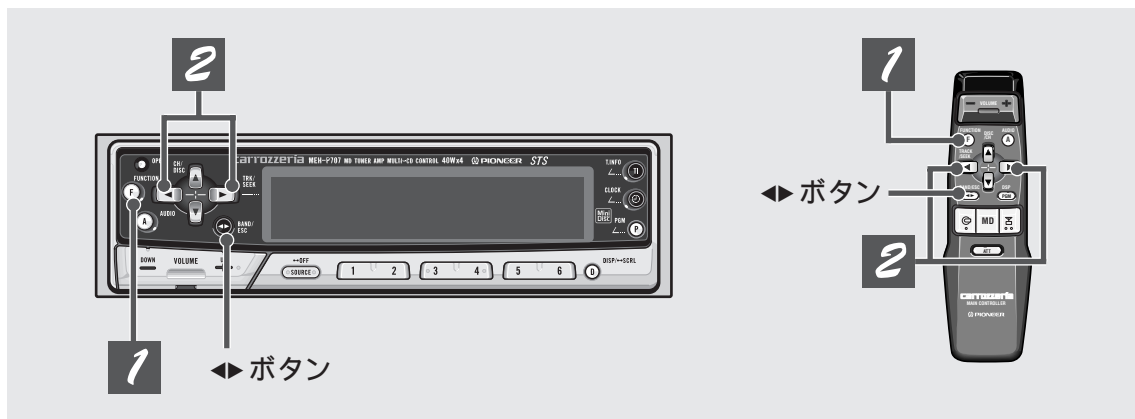
- タイトル入力モード (☞ 54 ページ)
- ITS入力モード (☞ 42 ページ)
- ミュージックグループ別
入力モード(50枚) (☞ 46 ページ)
- プログラム
ファンクション設定モード (☞ 60 ページ)

詳細設定モードを解除するには、◀ ボタンを押します。

同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。



1 リピートモードにする (☞ 前ページ)



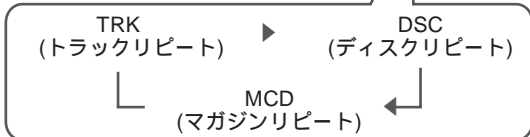
再生範囲について

再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マガジンリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

2 再生範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



リピート再生中に表示されます。 再生範囲

マルチCDでCDを聞く

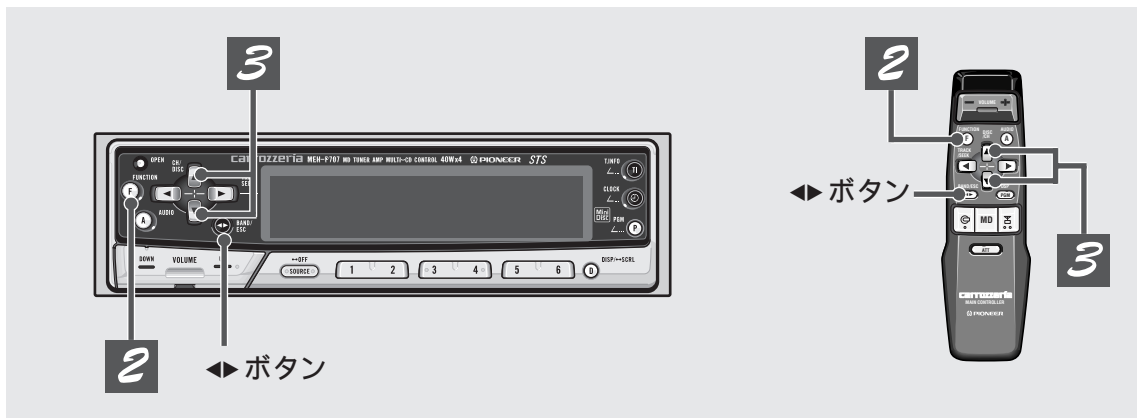
メモ

マルチCDを2台以上接続したときは、マガジンリピートの次に、オールリピート (ALL) に切り換わります。オールリピートにすると、接続したすべてのマルチCDを通して再生します。

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。



1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ (☞ 37ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムモードにする (☞ 36ページ)



3 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



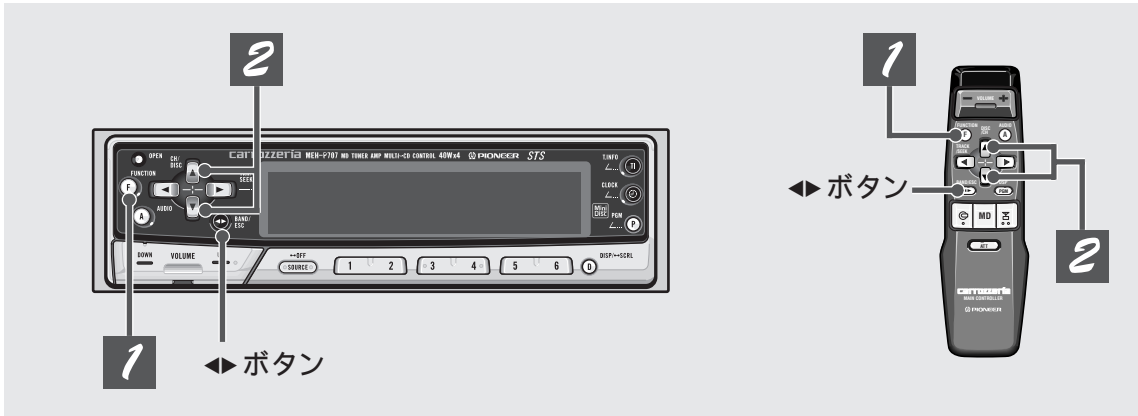
ランダム再生中に表示されます。

選んだ再生範囲が表示されます。

CD 再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。



1 ポーズモードにする (👉 36 ページ)



2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ボタンで再生)



◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

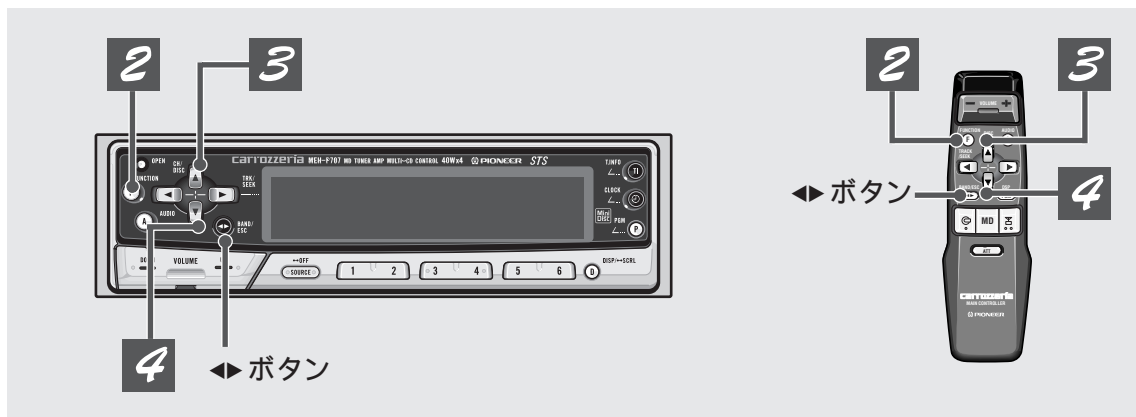


一時停止中表示されます。

マルチCDでCDを聞く

聞きたい曲やCDをさがす

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。



1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ (⇒ 37ページ)

聞きたい曲をさがすとき

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき

再生範囲をマガジンリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

2 スキャンモードにする (⇒ 36ページ)



3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

選んだ再生範囲が表示されます。

4 聞きたい曲 (CD) が再生され たらスキャン再生を解除する

ファンクションモードが解除されていた
ら、手順2の操作を行ってもう一度ス
キャンモードにしてから、スキャン再生
を解除してください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



◀▶ ボタンを押して、ファンクションモードを解
除してください。

メモ

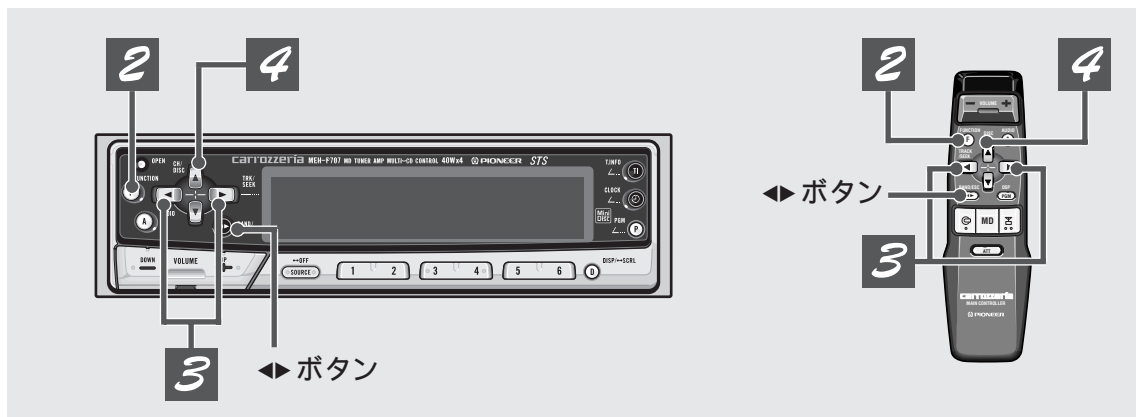
スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻
ると、スキャン再生は解除されます。

マルチCDを2台以上接続したときは、手順1で
オールリPEATを選んで、スキャン再生をするこ
ともできます。この場合、接続したすべてのマル
チCD内の、すべてのCDの1曲目だけが再生さ
れます。

聞きたい曲だけ記憶させておく

ITS 記憶

記憶させた曲だけ再生する (⇒ 次ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。



1 記憶させたいCDを再生する (⇒ 32ページ)

ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (⇒ 次ページ) 機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

CD1枚につき24曲まで記憶できます。

ITSは、タイトル (⇒ 54ページ)、グループ分け (⇒ 46ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

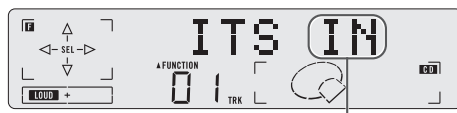
2 ITS入力モードにする (⇒ 36ページ)



3 記憶させたい曲を選ぶ (⇒ 33ページ)

4 記憶させる

▲ ボタンを押す



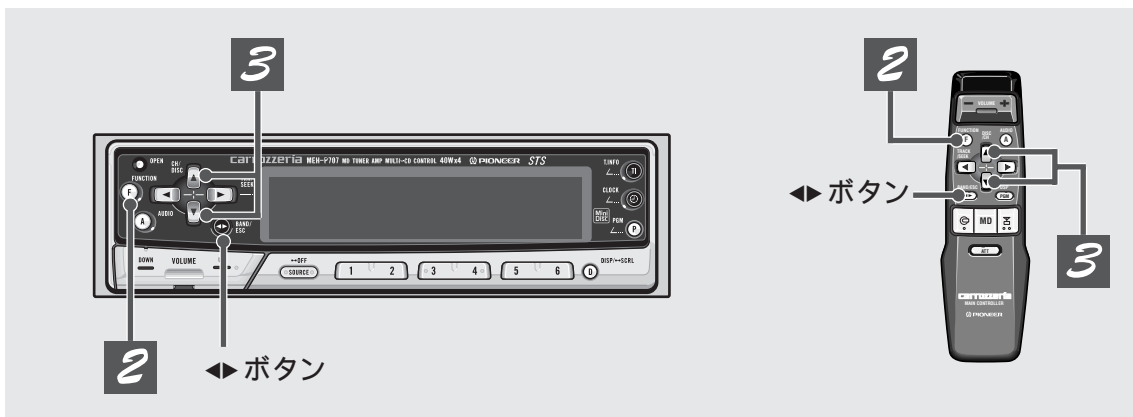
約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

◀ ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

記憶させた曲だけ再生する

ITS再生

ITS記憶 (☞ 前ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。



1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ (☞ 37ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITS再生モードにする (☞ 36ページ)



3 ITS再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

選んだ再生範囲が表示されます。

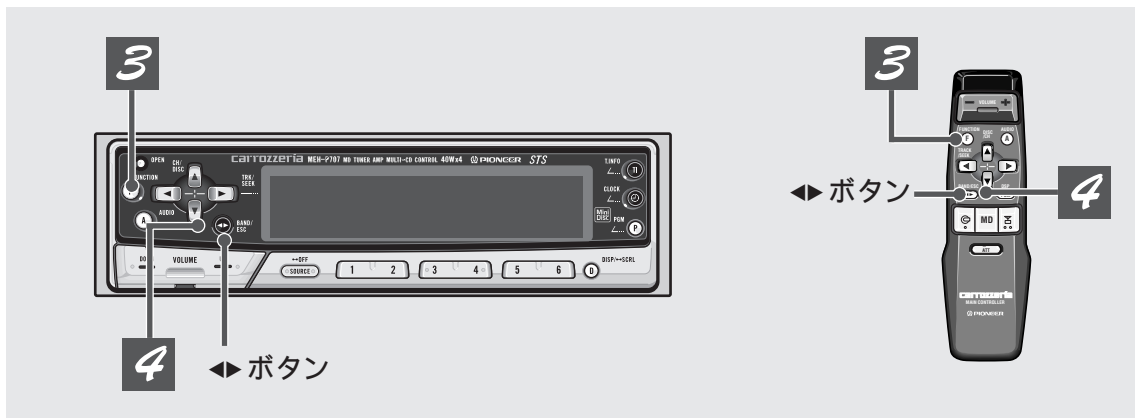
メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS EMPTY”が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。



1 ITS再生をONにする (⇒ 43ページ)

2 消去したい曲を再生する (⇒ 33ページ)

3 ITS入力モードにする (⇒ 36ページ)



4 消去する

▼ ボタンを押す



次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

◀ ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

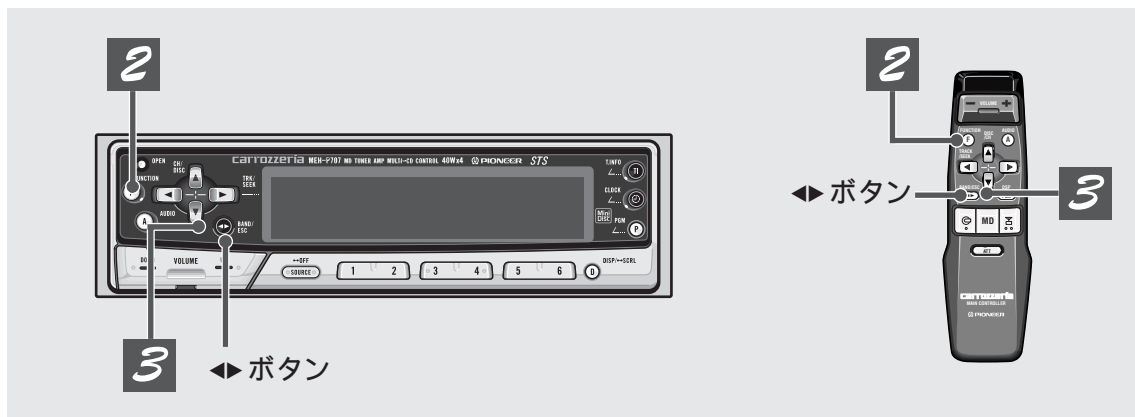
メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。



1 消去したいCDを再生する (☞ 32ページ)

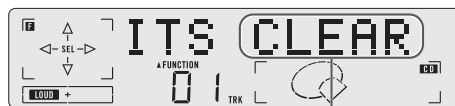
ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。

2 ITS入力モードにする (☞ 36ページ)



3 消去する

▼ ボタンを押す



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

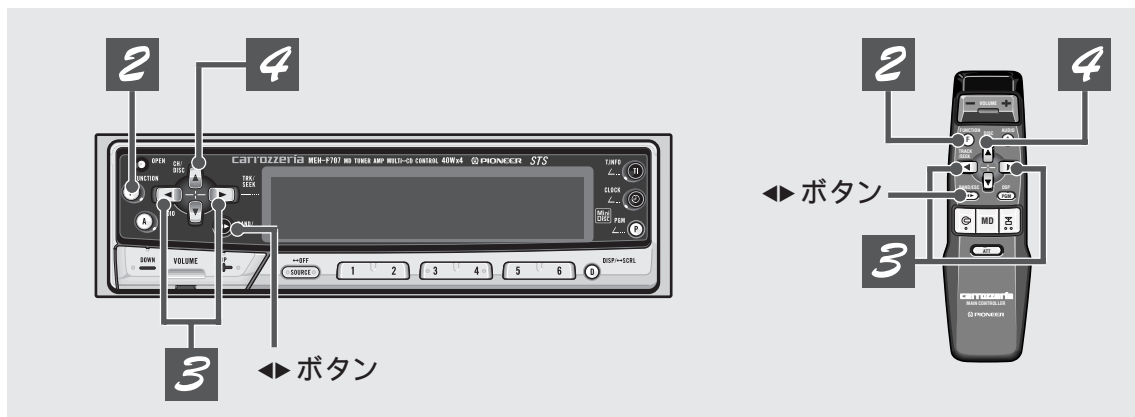
◀ ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

マルチCDでCDを聞く

CDをグループ分けする (50枚)

聞きたいグループ (ジャンル) のCDだけを再生する (☞ 48ページ) ために、あらかじめCDをグループ分けしておきます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



グループ分けについて

グループ分けは、聞きたいCDをグループごと記憶させておき、それを再生する (☞ 48ページ) 機能です。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

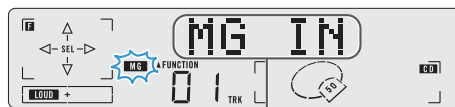
グループ分けは、タイトル (☞ 54ページ)、ITS (☞ 42ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

1 グループ分けさせたいCDを再生する (☞ 32ページ)

2 ミュージックグループ別入力モードにする (☞ 36ページ)



約2秒間表示されます。

3 グループを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す



選んだグループが点滅します。

次のようなグループがあります。

ROCK1	ROCK2	POPS1
POPS2	JAZZ	FUSION
CLASSIC	GROUP1	GROUP2
GROUP3		

4 記憶させる

▲ ボタンを押す



一度点滅が止まり、記憶したことを知らせます。

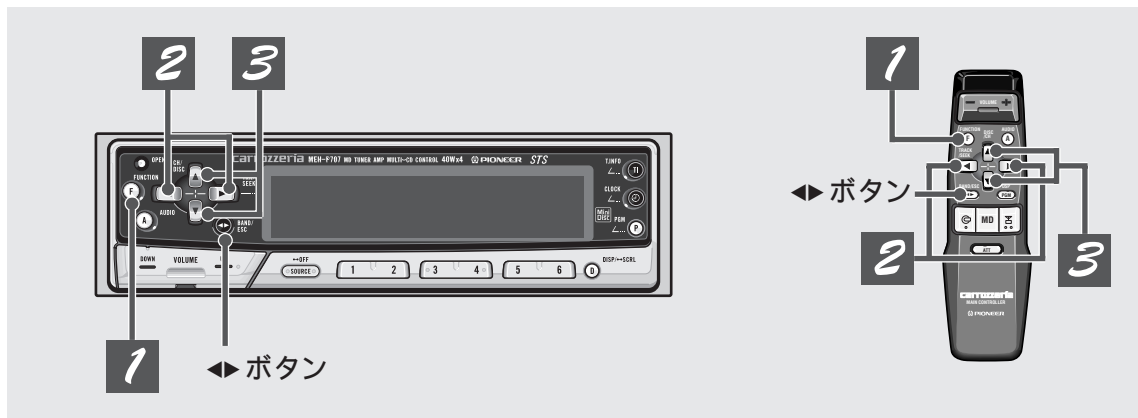
◀▶ ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

グループ別で再生する (50枚)

ミュージックグループ別再生

グループ分け (⇒ 46ページ) されたCDだけを再生することができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



1 ミュージックグループ別モードにする (⇒ 36ページ)



2 聞きたいグループを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



選んだグループが表示されます。

3 グループ別再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



グループ別再生が始まり、グループ分けされたCDだけが再生されます。

◀▶ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ミュージックグループ別再生中に表示されます。

メモ

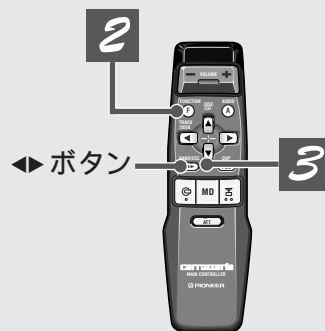
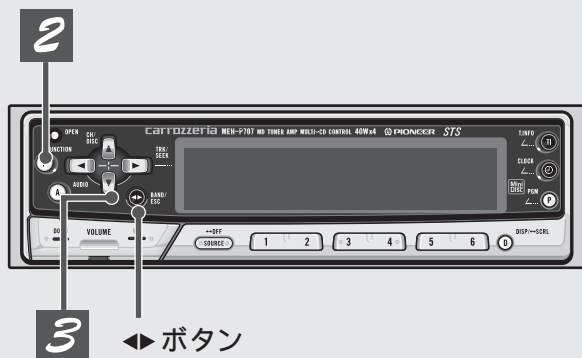
手順2で選んだグループにCDが記憶されていない場合は、“MG EMPTY”が約2秒間表示されて、ミュージックグループ別再生は行われません。

CDをグループから消す (50枚)

ミュージックグループ別消去

グループ分けされたCDをグループから消すことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



1 消去したいCDを再生する (☞ 32ページ)

2 ミュージックグループ別入力モードにする (☞ 36ページ)



3 消去する

▼ ボタンを押す



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

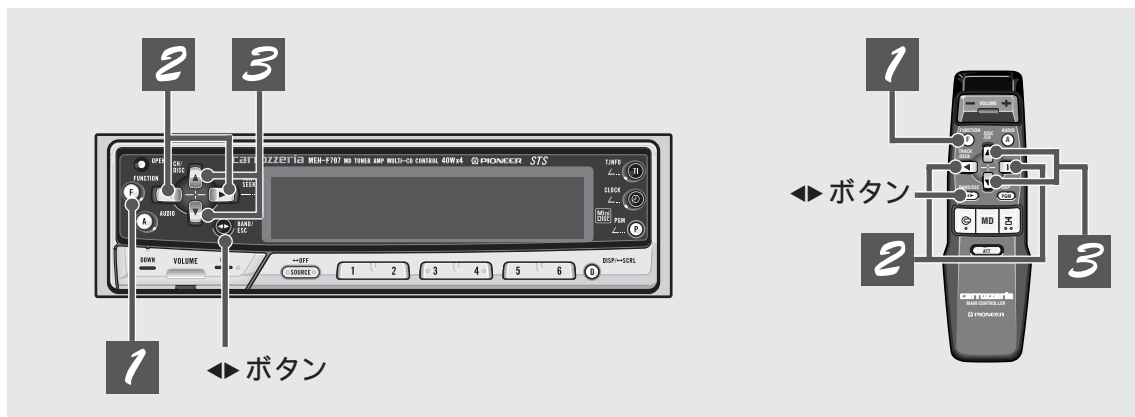
◀ ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

マルチCDでCDを聞く

演奏頻度でCDを再生する (50枚)

日ごろよく聞くCDやあまり聞かないCDを、頻度順に再生することができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



演奏頻度別再生について

演奏頻度別再生は、マガジンにセットされているCDの再生された頻度により、よく聞くCD順 (MOST) または、あまりよく聞かないCD順 (LEAST) に再生する機能です。

1 演奏頻度別モードにする (➡ 36ページ)

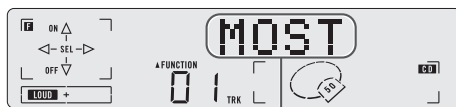


2 頻度を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : MOST を選ぶとき

◀ : LEAST を選ぶとき



選んだ頻度が表示されます。

3

頻度別再生を
ONにする

▲ ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



演奏頻度別再生が始まり、頻度順にCDが再生されます。

◀▶ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

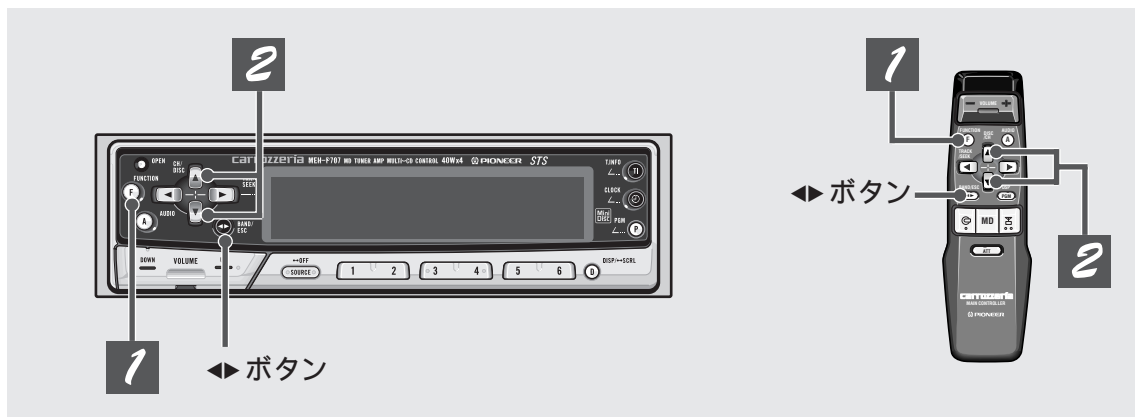


演奏頻度別再生中に表示されます。

CDの音質を調整する

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック コンプレッション/DBE機能の付いたマルチCD(「CDX-P620S」など)で操作できます。



コンプレッションについて

コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス)の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP切り換えモードにする (→ 36ページ)



現在のコンプレッション/DBEの状態が表示されます。

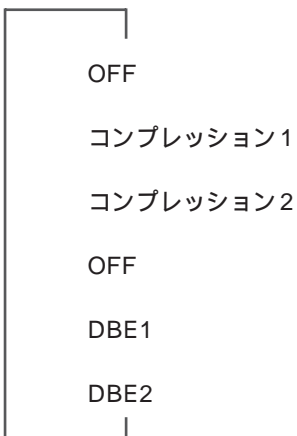
メモ

コンプレッション/DBE機能のないマルチCDと組み合わせた場合は、“NO COMP”と表示され操作できません。

2 機能を選ぶ

▲ボタンまたは▼ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



コンプレッション1・2を選んだとき



1より2の方が効果が大きくなります。

DBE1・2を選んだとき

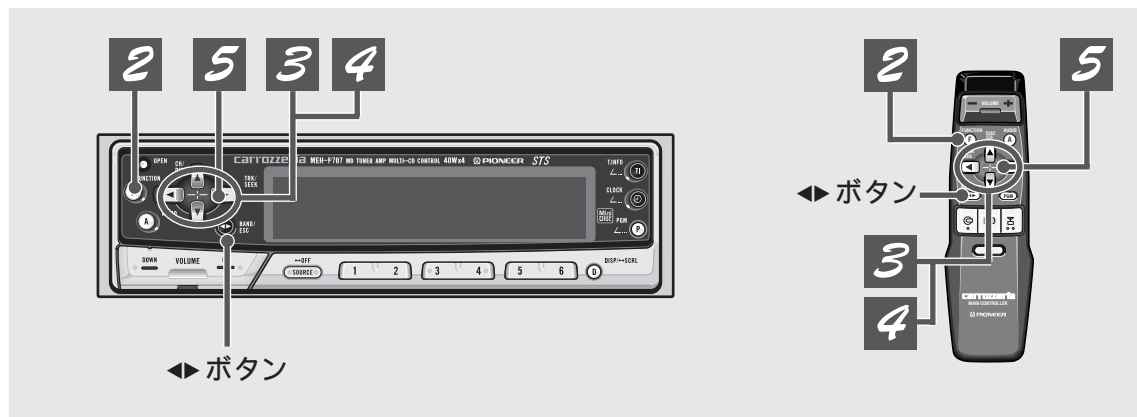


1より2の方が効果が大きくなります。

◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

CDのタイトルを記憶させる

CDのタイトルを表示させる (☞ 58ページ) ために、あらかじめタイトルを記憶させておきます。



タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト (☞ 56ページ) や “ABC” ディスクタイトルサーチ (☞ 57ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

タイトルは10文字まで入力できます。

タイトルは、ITS (☞ 42ページ)、グループ分け (☞ 46ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDを取り出しても消えません。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

1 タイトルを入力したい
CDを再生する (☞ 32ページ)

2 タイトル入力
モードにする (☞ 36ページ)



約2秒間表示されます。

3 タイトルを入力する

入力する文字を選ぶとき

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次の文字を選ぶとき

▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

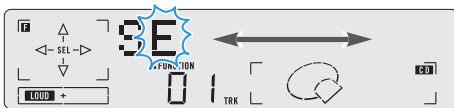
文字は_ (空白)、A ~ Z (アルファベット)、* + , - . / (記号)、0 ~ 9 (数字) の中から選ぶことができます。

入力する位置を選ぶとき

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 右に移動させるとき

◀ : 左に移動させるとき



10文字まで入力できます。

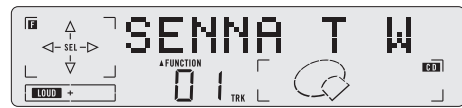
4 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余った場合は空白を入力して、10文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを 記憶する

▶ ボタンを押す



入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

◀▶ ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

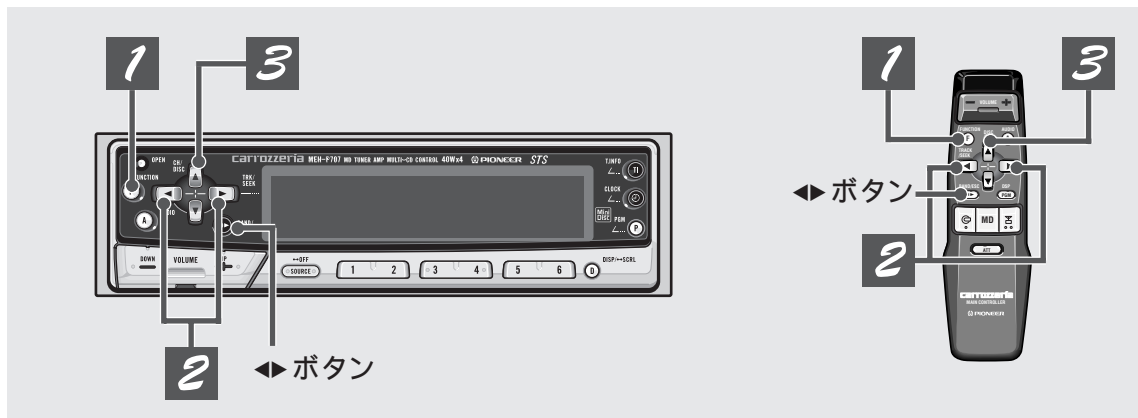
メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) に
◀▶ ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。



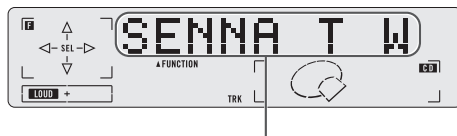
1 タイトルリスト モードにする (☞ 36ページ)



約2秒間表示されます。

3 選んだCDを 再生する

▲ ボタンを押す



選んだCDが再生されます。(CDが切り換わる間、点滅が止まります。)

2 聞きたいCDを 選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき
- ◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき



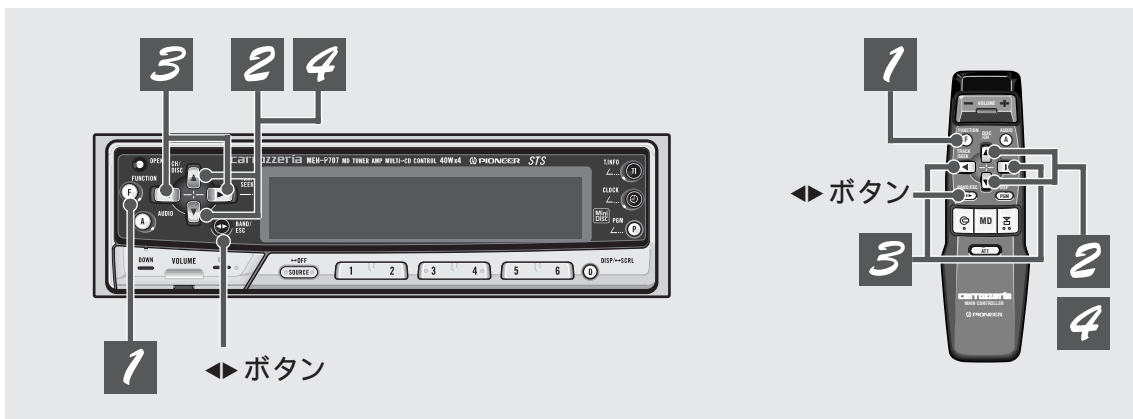
◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

タイトルの頭文字でCDをさがす (50枚)

“ABC” ディスクタイトルサーチ

CDのタイトルの頭文字で、聞きたいCDをさがすことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



1 “ABC” ディスクタイトルサーチモードにする (☞ 36ページ)



約2秒間表示されます。

2 タイトルの頭文字を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲ : 次の文字を選ぶとき

▼ : 前の文字を選ぶとき



3 聞きたいタイトルを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

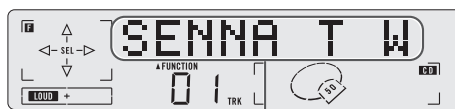
▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき

◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき



4 選んだタイトルのCDを再生する

▲ ボタンを押す



選んだCDが再生されます。(CDが切り換わる間、点滅が止まります。)

メモ

手順3の操作を解除したい場合は、▼ボタンを押すと解除され手順2に戻ります。

選んだ頭文字のCDがないときは、“NO TITLE”が約8秒間、点滅表示されます。

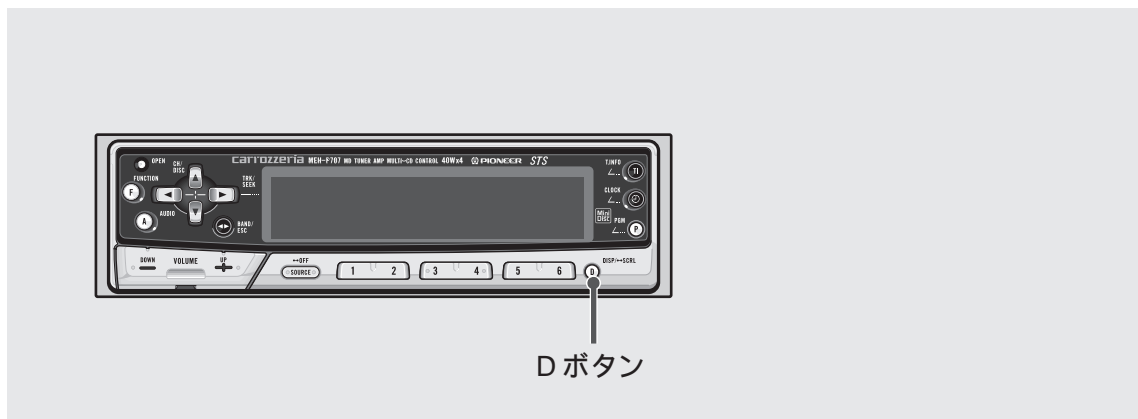
◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

マルチCDでCDを聞く

CDのタイトルやグループを表示させる

タイトル表示 / グループ表示

タイトル記憶 (☞ 54ページ) で記憶させたCDのタイトルや、グループ (☞ 46ページ) を表示させることができます。



表示を切り換える

Dボタンを押す

ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

曲番号/再生経過時間表示

タイトル表示

グループ表示 (50枚)

曲番号/再生経過時間表示



タイトル表示



入力したタイトル

グループ表示



分けたグループ

メモ

タイトルが入力されていないCDやグループ分けされていないCDで表示を切り換えると、“NO TITLE”や“NO GROUP”が約8秒間、点滅表示されます。

選んだCDを取り出す (50枚)

CDイジェクト

選んだCDをマガジンからエクストラトレイに移して取り出すことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



◀ ボタン



◀ ボタン

1 取り出したいCDを再生する (☞ 32ページ)

2 CDをエクストラトレイに移動する

◀ ボタンを2秒以上押す



3 CDをエクストラトレイから取り出す

CDの取り出しかたについては、50連奏マルチCDプレーヤーの説明書をご覧ください。

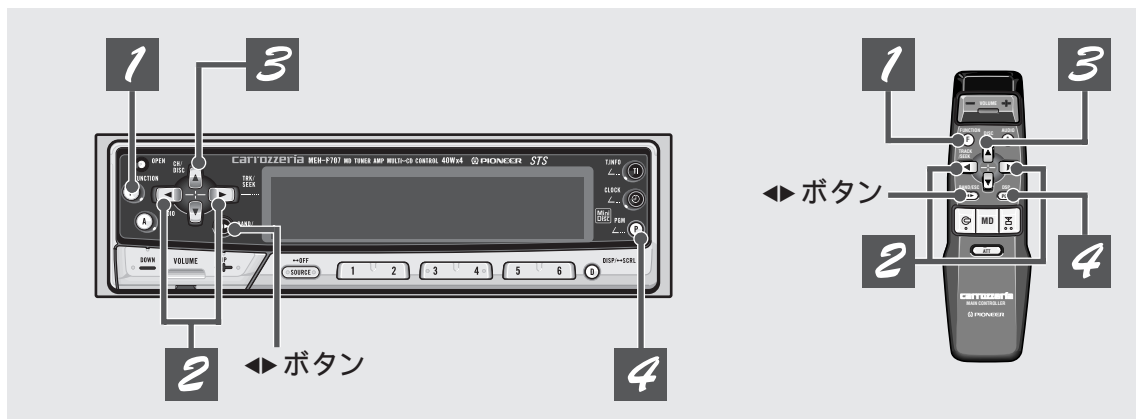
マルチCDでCDを聞く

メモ

すでにエクストラトレイにCDが入っているときは動作しません。

よく使う機能を学習させる

よく使う機能をソースごとに、PGMボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、ポーズが学習されています。)



1 プログラムファンクション設定モードにする

(☞ 36 ページ)

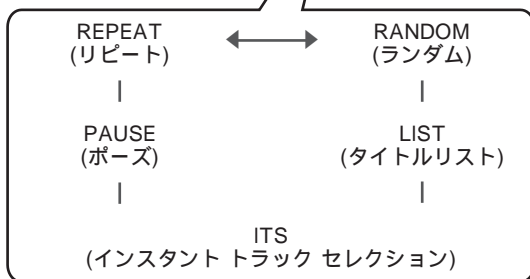


約2秒間表示されます。

2 学習させたい機能を選ぶ

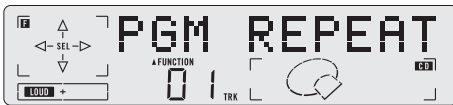
◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



3 選んだ機能を学習させる

▲ ボタンを押す



点滅が止まり、選んだ機能が学習されます。

◀▶ ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

4 学習させた機能を操作する

PGM ボタンを押す (または2 秒以上押す)

記憶させた機能により、操作方法が以下のようになります。

機能	押す	2 秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	---
リピート	切り換え	---
ランダム	ON/OFF	---
タイトルリスト	タイトルリスト モードになる	---
ITS	記憶	再生

瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。



瞬時に音量を 小さくする

ATT ボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのときに点滅します。

アッテネーターがONのときは、音量が約
1/10になります。

メモ

アッテネーターがONのときに+または-ボタンを押すと、アッテネーターは自動的にOFF（解除）になります。このときは、アッテネーターがONのときの音量に近い音量になります。

別売のDSPカセット「KDS-P505/KDS-P500」や、DSPユニット「DEQ-700」などと組み合わせた場合は、アッテネーターONの表示は、DSPユニット側に表示されます。

オーディオ調節モードの切り換えかた

音質を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

A ボタン



◀ ボタン

A ボタン



◀ ボタン

オーディオ調節 モードを切り換える

A ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード (☞ 64 ページ)

低音調節モード (☞ 66 ページ)

高音調節モード (☞ 66 ページ)

ラウドネスモード (☞ 67 ページ)

FIE モード (☞ 68 ページ)

SLA モード (☞ 69 ページ)

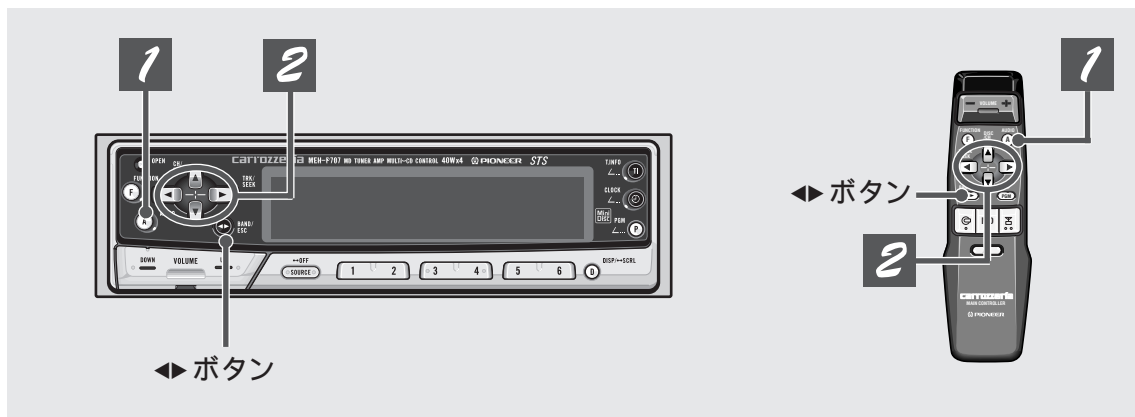
オーディオ調節モードを解除するには、◀ ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

メモ

別売のDSPカセット「KDS-P505/KDS-P500」と組み合わせた場合は、A ボタンを押してもオーディオ調整モードには切り替わりません。オーディオの調整は、DSPカセット側で行ってください。

前後左右の音量バランスを調節する

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。



1 音量バランス調節モードにする (☞ 63ページ)



2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 前を強めるとき

▼ : 後ろを強めるとき



前後のバランスはF15 ~ R15の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 右を強めるとき

◀ : 左を強めるとき



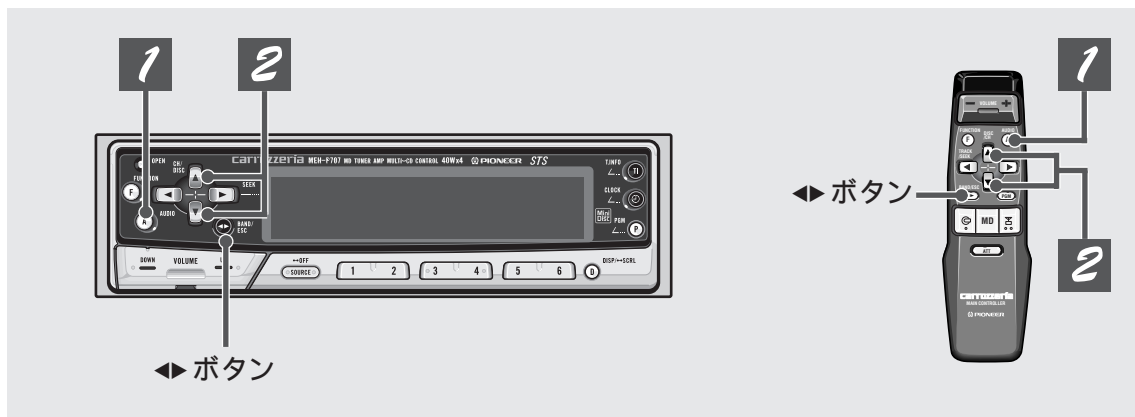
左右のバランスはL9 ~ R9の範囲で調節できます。

◀▶ ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

低音や高音を調節する

バス / トレブル

ソースごとに、低音および高音を強めたり弱めたりすることができます。



1 低音または高音調節モードにする (☞ 63ページ)

低音調節モードのとき



高音調節モードのとき



2 低音または高音を調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 強めるとき

▼ : 弱めるとき



低音、高音どちらも、-6 ~ +6の範囲で調節できます。

◀ ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

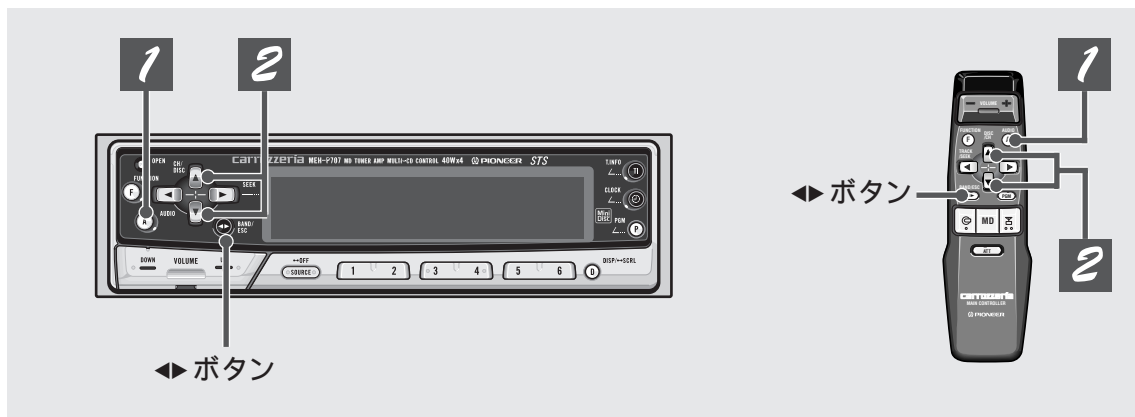
メモ

内蔵MDとマルチMD、1枚型CDとマルチCDおよびAMと交通情報 (☞ 72ページ) は同じ設定になります。

小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。(この機能は、初期設定ではONになっています。)



1 ラウドネス モードにする (☞ 63ページ)



2 ラウドネスを ONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ラウドネスがONのときに表示されます。

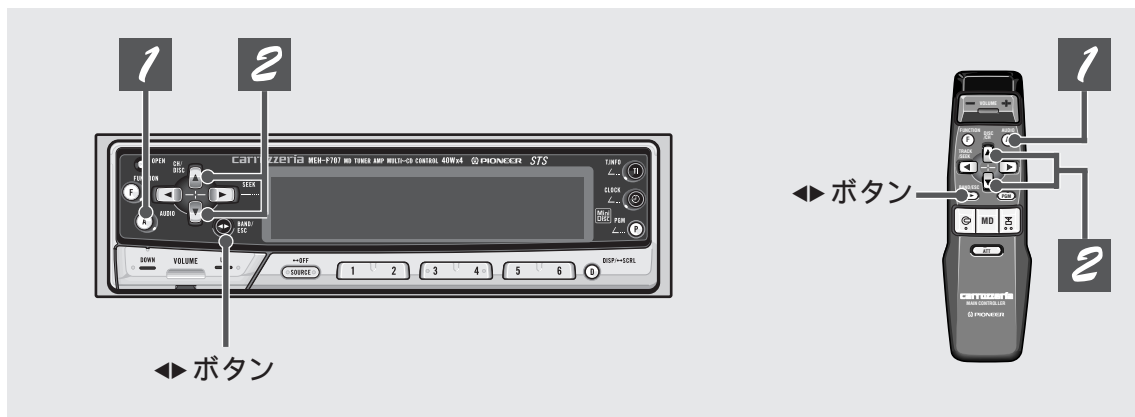
◀ ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

音を調節する

前にステージがあるようにする

FIE

後ろのスピーカーの音を低音だけにして、後ろからではなく前から音が聞こえてくるようにすることができます。

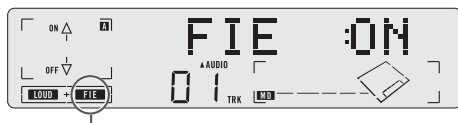


1 FIE モードにする (☞ 63ページ)



2 FIEを ONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



FIEがONのときに表示されます。

◀ ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

3 前後の音量バランスを 調節する (☞ 64ページ)

FIEをONにすると、後ろのスピーカーの音が低音だけになりますので、前後のスピーカーのバランスが良くなるように調節してください。

FIEをOFFにするときは、音量を小さくしてから行ってください。FIEをOFFにすると、後ろのスピーカーから低音以外の音も出力されるので、音量が急に大きくなります。

メモ

FIEとは、Front Image Enhancer (フロントイメージエンハンサー) の略です。

2スピーカーシステムをお使いの方は、FIEをOFFにしてください。

FIEは内蔵アンプに対して働きます。後ろのスピーカーを外部アンプに接続している場合は、FIEは働きません。

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量にそろえることができます。



1 FM放送を受信し、FMの音量を確かめる (☞ 22ページ)

2 調節したいソースに切り換える (☞ 10ページ)

3 SLAモードにする (☞ 63ページ)



4 レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



レベルは-4 ~ +4の範囲で調節できます。

◀ ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター)の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMからSLAモードに切り換えることはできません。

AM、MD、CD、テレビ、AUX (外部機器) のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵MDとマルチMD、1枚型CDとマルチCDおよびAMと交通情報 (☞ 72ページ) は同じ設定になります。

時計を表示させる

時計表示

本機の電源がONのときは、時計を表示させることができます。



時計を表示する

CLOCK ボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



時計表示

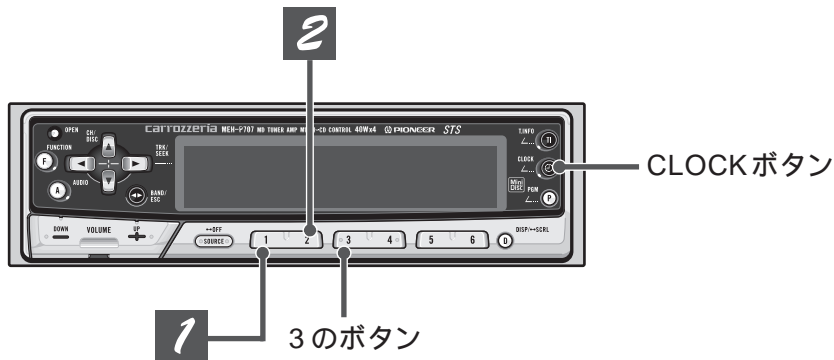
メモ

時計表示のときに時計合わせ (👉 次ページ) 以外の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒間で時計表示に戻ります。

時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。



時計を合わせる

1 「時」を合わせる

CLOCK ボタンを押しながら 1 のボタンを押す

1 のボタンを押すごとに、1 時間ずつ進みます。

2 「分」を合わせる

CLOCK ボタンを押しながら 2 のボタンを押す

2 のボタンを押すごとに、1 分ずつ進みます。

3 0 秒からスタートする

CLOCK ボタンを放す

時計が 0 秒から動き始めます。

時報で時計を合わせる

時報で合わせる

時報に合わせて、CLOCK ボタンを押しながら 3 のボタンを押す

「分」が “00” になります。

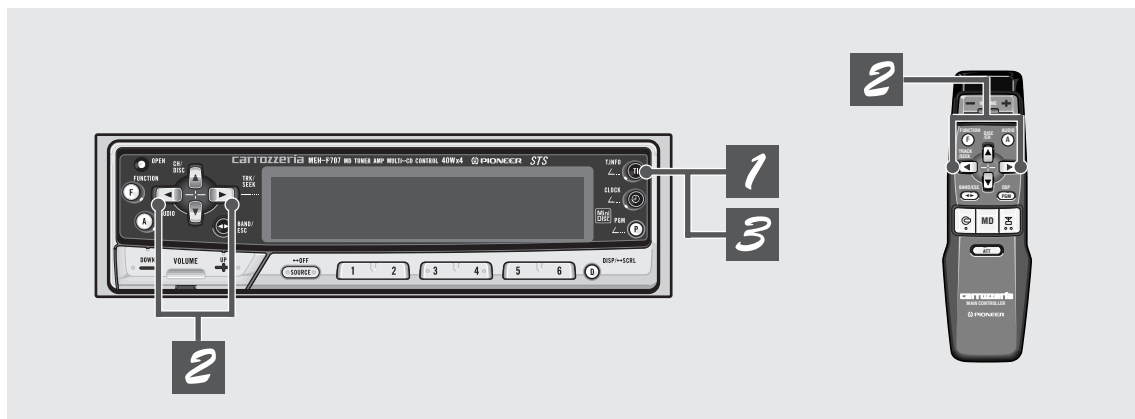
例) 10 : 00 ~ 10 : 29 ▶ 10 : 00

10 : 30 ~ 10 : 59 ▶ 11 : 00

この操作により、時計の誤差を解消できます。

交通情報を受信する

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。



1 交通情報を受信する

T.INFO ボタンを押す



AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。

3 交通情報の受信をやめる

T.INFO ボタンを押す

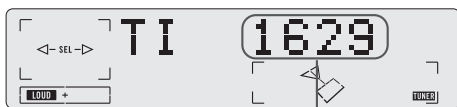
交通情報を受信する前の状態に戻ります。

2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 1,629 kHz にするとき

◀ : 1,620 kHz にするとき



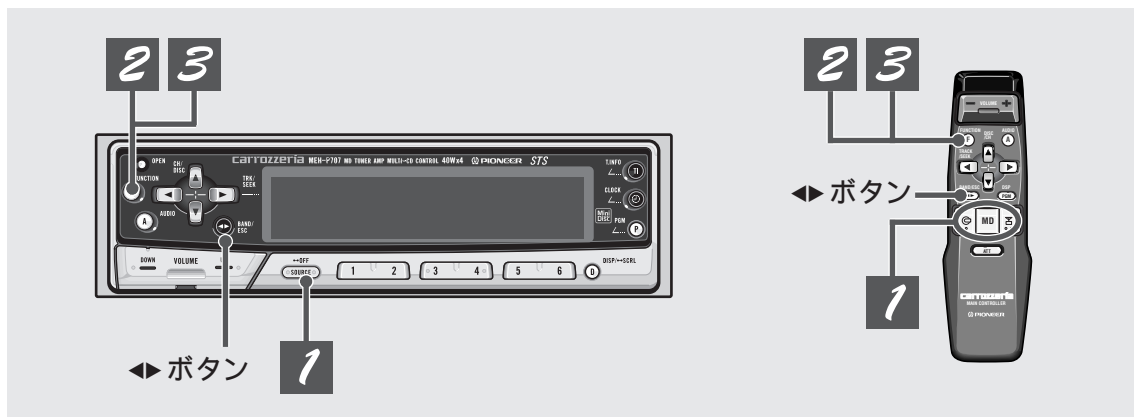
受信周波数

メモ

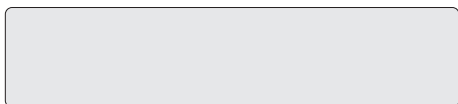
この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。



1 電源を OFF にする (⇒ 11 ページ)



2 初期設定モードにする

電源が OFF のときに、F ボタンを 2 秒以上押す



初期設定モードになります。

3 初期設定モードを切り換える

F ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

AUX (外部機器) モード (⇒ 74 ページ)

オートアンテナモード (⇒ 76 ページ)

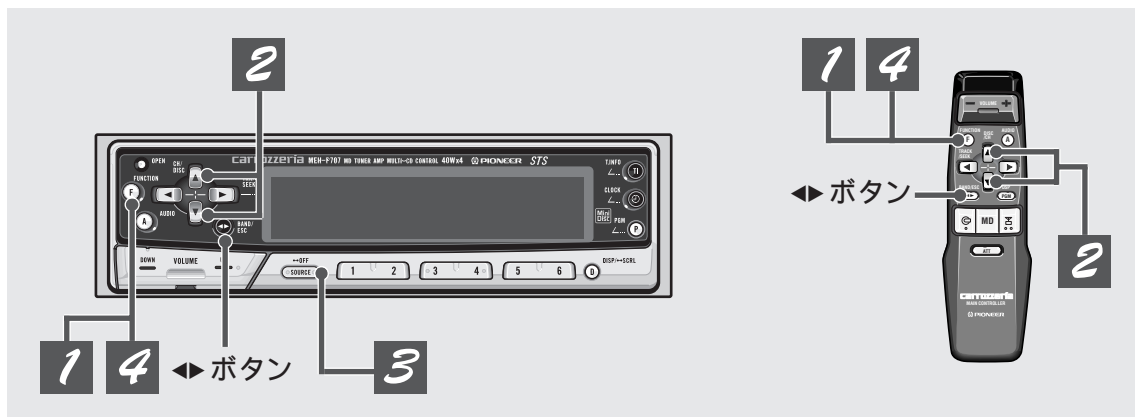
ディマーモード (⇒ 77 ページ)

コントラスト調節モード (⇒ 78 ページ)

初期設定モードを解除するには、◀▶ ボタンを押します。(解除すると電源が OFF になります。)

外部機器の音声を聞く

本機に DAT や VTR などの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。



外部機器との接続について

別売の RCA/IP-BUS インターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA 出力のある DAT や VTR を、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUS インターコネクターの説明書をご覧ください。

1 AUX (外部機器) モードにする (☞ 73 ページ)



2 AUX (外部機器) の設定を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



◀ ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースを AUXにする (☞ 10ページ)

SOURCE ボタンを押す



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

4 外部機器の名称入力 モードにする

F ボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

5 外部機器の名称を入力し、 記憶させる (☞ 55ページ)

CDのタイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。
例) “DAT” を入力した場合

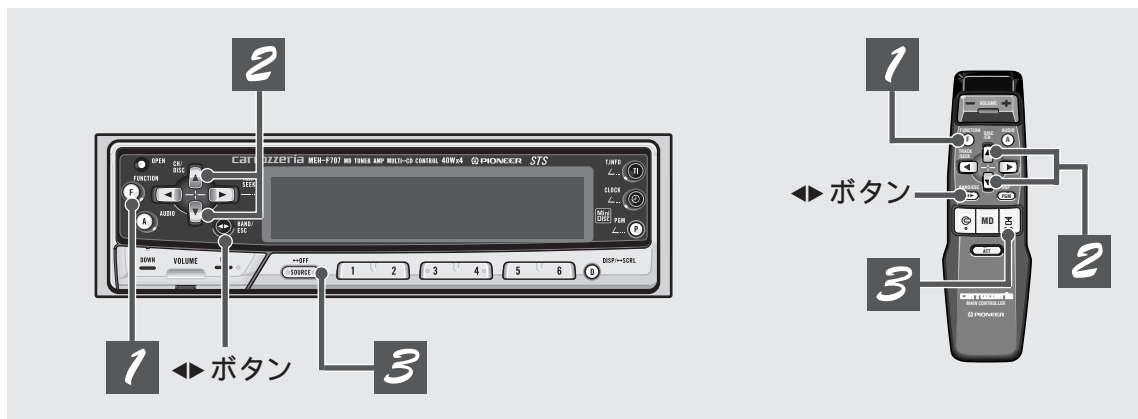


“AUX” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

テレビのときにオートアンテナをのばす

オートアンテナの設定

パイオニア製のテレビ (6型 AVシステムTV「AVX-P505」など) を接続した場合、ソースをテレビにしたときも、車に装備されているオートアンテナをのばすことができます。



1 オートアンテナモードにする (☞ 73ページ)



オートアンテナの設定について

設定がOFFのときは、ソースをラジオにしたときだけ、オートアンテナがのびます。設定をONにすると、ソースをテレビにしたときも、オートアンテナがのびようになります。

ラジオとテレビでオートアンテナを共用するときは、設定をONにしてください。

2 オートアンテナの設定をONにする

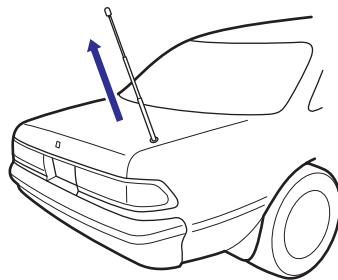
▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



◀ ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをテレビにする (☞ 10ページ)

SOURCEまたはチューナーボタンを押す

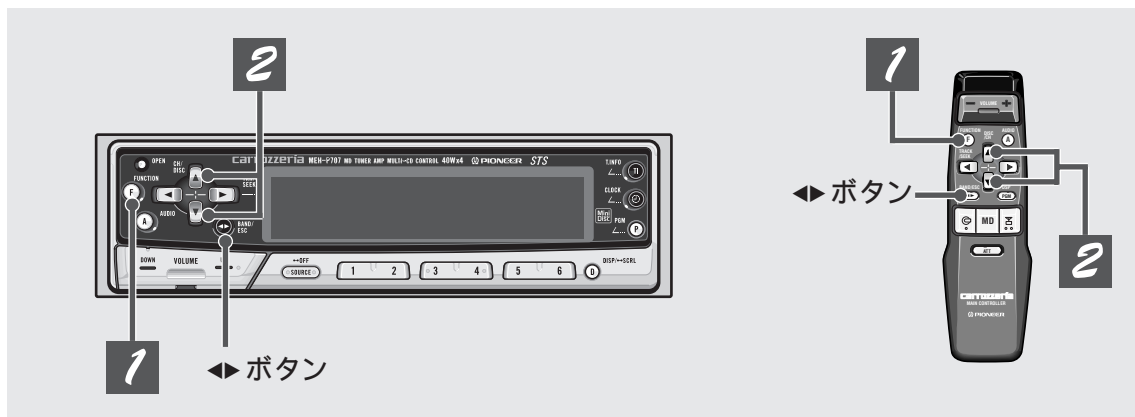


オートアンテナがのびようになります。

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマーの設定

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。このディマーの設定は、OFFにすることができます。



1 ディマーモードにする (☞ 73ページ)



2 ディマーの設定をOFFにする

▼ ボタンを押す (▲ ボタンでON)

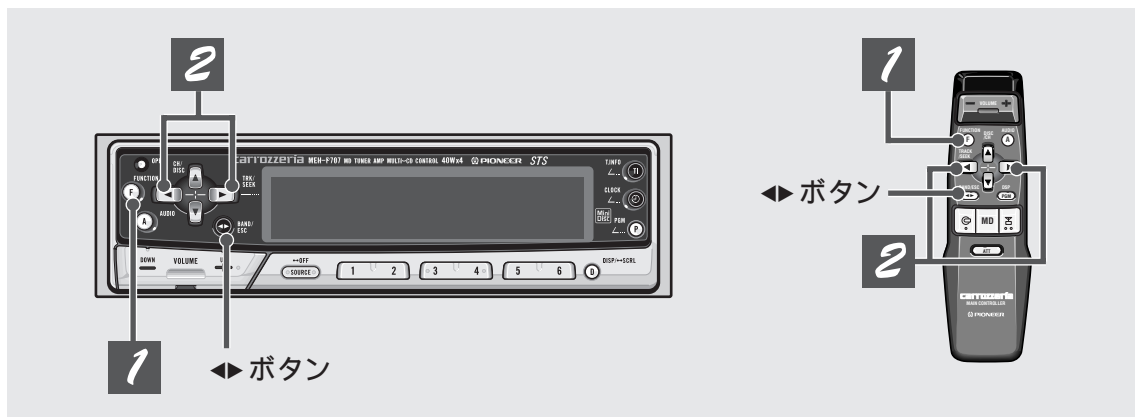


◀ ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

ディスプレイのコントラスト (明暗) を調節する

コントラスト

ディスプレイが見やすくなるように、ディスプレイのコントラスト (明暗 = 点灯している部分と点灯していない部分の差) を調節することができます。



1 コントラスト調節モードにする (☞ 73ページ)



(初期設定では +2 になっています。)

2 コントラスト (明暗) を調節する

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 明暗の差がはっきりする

◀ : 明暗の差が小さくなる



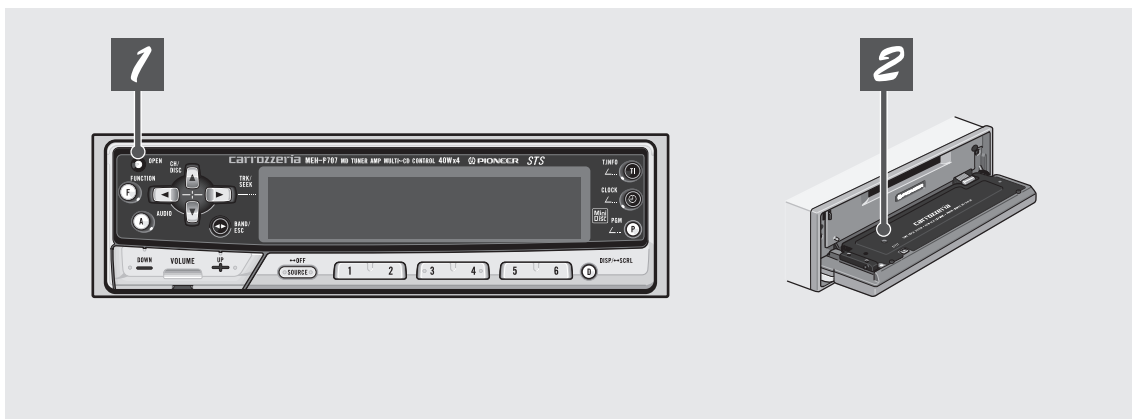
-7 ~ +7 の範囲で調節できます。

◀▶ ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

本機を初期状態に戻す

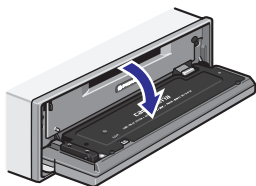
リセット

本機を初期状態に戻すことができます。



1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す



リセットについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態（ご購入直後の状態）に戻ります。

次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

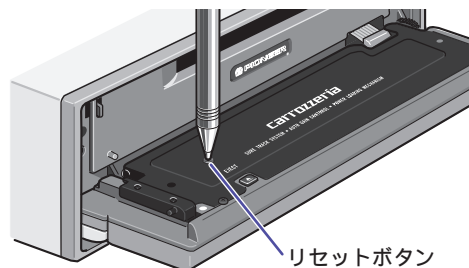
本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

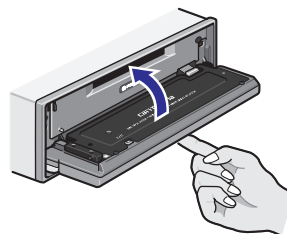
2 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



本機のマイコンが初期状態に戻ります。

3 フロントパネルを閉める

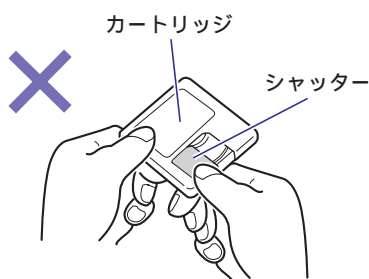


その他の機能と付録

MDの正しい使いかた

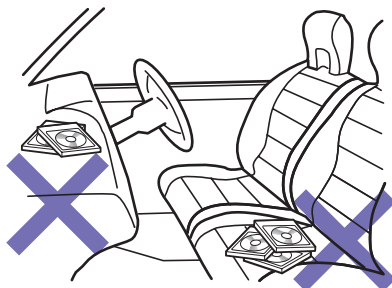
取り扱い上のご注意

MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれることがあります。



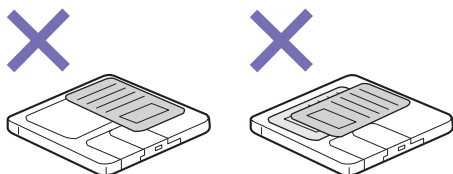
保管上のご注意

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。

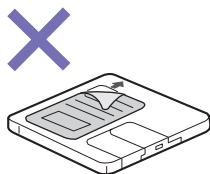


ラベルについて

MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。



ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかけたり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



お手入れについて

MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



寒いときの結露について

寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのをお待ちください。MDのカートリッジ表面に付いたつゆは柔らかい布で拭いてください。

こんなメッセージが表示されたら

MDのエラー表示

MDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ	メッセージが表示されるとき	処 置
「NO D-DATA」	ディスク名が入力されていないMDを再生中にディスク名表示に切り換えたとき。	ディスク名表示以外の表示に切り換えてください。(☞ 20ページ)
「NO TR-DATA」	曲名が入力されていない曲を再生中に曲名表示に切り換えたとき。	曲名表示以外の表示に切り換えてください。(☞ 20ページ)
「HEAT」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「ERROR 11、12、17、30」	MDが汚れているとき。 MDにキズやひびがあるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR 20、21」	振動などが原因で曲の情報を読み取れなかったとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
	MDに異常 (損傷している、TOCが入っていないなど) があるとき。	
「ERROR 22、24」	MDに異常 (損傷している、TOCが入っていないなど) があるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR 23」	音楽以外の情報が記録されたMDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用してください。
「ERROR 01、11、12、17、30、A0」	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生にしてください。
「ERROR A1」	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	MD再生を一度やめて、リセットボタンを押し (☞ 79ページ) もう一度MD再生にしてください。
「ERROR」	MDが何らかの原因で再生しないとき。	他のMDと交換してください。
		リセットボタンを押してください。(☞ 79ページ)

故障かな？と思ったら

故障かな？
と思ったら

修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても
なおらないときは

本機をリセットしてくだ
さい。(☞ 79ページ)

それでも
なおらないときは

「保証書とアフターサービス」
(☞ 84ページ)をお読みに
なり、修理を依頼してくだ
さい。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう 一度確認してください。(☞ 取付説明書)
音が出ない。音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。(☞ 13、23、33ページ)
	アッテネーターがONになっ ている。	アッテネーターをOFFにしてください。 (☞ 62ページ)
前または後のスピーカーの 音が出ない。音が小さい。	前後の音量バランスの調節が 適切でない。	前後の音量バランスを調節してください。 (☞ 64ページ)
左または右のスピーカーの 音が出ない。音が小さい。	左右の音量バランスの調節が 適切でない。	左右の音量バランスを調節してください。 (☞ 64ページ)

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、 ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合ってい ない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ 23ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ 23ページ)
	周りに障害物があるなど、受 信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。(☞ 23ページ)

MD

症 状	原 因	処 置
大きな雑音が出る。 再生がストップしてしまう。 MDが自動的に出てくる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDにくもりや水滴が付いている。	
	購入したばかり、または全曲を消去した録音用MDを挿入した。	
	MDが正しい方向に挿入されていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入してください。 (☞ 12、14ページ)

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。
保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター(1・C)をご利用ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

おもな仕様

MD プレーヤー部

形式	: ミニディスクデジタル オーディオシステム
使用ディスク	: ミニディスク
信号フォーマット	: サンプリング周波数: 44.1 kHz 量子化ビット数: 16 ビット直線
周波数特性	: 20 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
S/N	: 94 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミック レンジ	: 93 dB (1 kHz)
チャンネル数	: 2チャンネル (ステレオ)

FM チューナー部

受信周波数帯域	: 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度	: 11 dBf (1.0 μ V/75、 モノラル、S/N: 30 dB)
S/N 50 dB感度	: 16 dBf (1.7 μ V/75、モノラル)
S/N	: 70 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率	: 0.3% (65 dBf 入力、1 kHz、 ステレオ)
周波数特性	: 30 ~ 15,000 Hz (± 3 dB)
ステレオ セパレーション	: 40 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域	: 522 ~ 1,629 kHz
実用感度	: 18 μ V (S/N: 20 dB)
実効選択度	: 50 dB (± 9 kHz)
S/N	: 50 dB

アンプ・共通部

最大消費電流	: 10.0 A
最大出力	: 40 W × 4
定格出力	: 20 W × 4 (50 ~ 15,000 Hz、5%)
トーン コントロール	: バス: ± 12 dB (80 Hz) トレブル: ± 12 dB (10 kHz)
ラウドネス コンター	: 10 dB (100 Hz)、7 dB (10 kHz) (ボリューム: - 30 dB)
負荷 インピーダンス	: 4 (4 ~ 8 使用可能)
プリアウト 出力レベル	: 500 mV
出力 インピーダンス	: 1 k
使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
外形寸法 (取付寸法)	: 178 (W) × 50 (H) × 155 (D) mm (ノーズ寸法): 170 (W) × 46 (H) × 13 (D) mm
質量	: 1.5 kg

付属品

メイン コントローラー	: 1
単4形 乾電池 (R03)	: 2
コードユニット	: 1
取付ネジ類	: 1式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・修理 窓口のご案内	: 1

本機は、ドルビー・ラボラトリーズ・ライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

メモ



エコマーク認定の再生紙を使用しています。

< 98B00F0A01 >

© パイオニア株式会社 1998

< CRA2494-A >

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

お客様ご相談窓口 (修理に関しては別添『ご相談窓口・修理窓口のご案内』参照)

お客様相談センター TEL 03-3491-8181

技術相談窓口	札幌	TEL 011-644-4779	大阪	TEL 06-353-3705
	仙台	TEL 022-375-4417	広島	TEL 082-228-2239
	名古屋	TEL 052-532-1141	福岡	TEL 092-441-8076